

第30回 日本在宅ケア学会 学術集会

OSAKA

サイエンスとひとが創り出す在宅ケア プログラム集

会

期

2025年9月13日(土)・14日(日)

学術集会長

河野 あゆみ

(大阪公立大学 看護学部 地域包括ケア科学 教授)

会

場

千里ライフサイエンスセンター



事務局長

三輪 恭子 (大阪公立大学 看護学部 在宅看護学 教授)

後援

一般社団法人日本在宅ケアアライアンス、大阪府、大阪公立大学、
公益社団法人大阪府看護協会、一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会、
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会、
公益社団法人大阪介護支援専門員協会、日本訪問看護認定看護師協議会

助成

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団、
独立行政法人日本学術振興会令和7(2025)年度科学研究費
補助事業(科学研究成果公開促進費「研究成果公開発表」)

目 次

ご挨拶	2
開催概要	3
参加者へのご案内	4
座長・発表者へのご案内	8
会場へのアクセス	12
会場配置図	13
日程表	14
プログラム	17
9月13日(土)1日目	18
9月14日(日)2日目	22
スキルアップセミナー(オンデマンド配信)	26
交流集会	27
一般演題	29
協賛等一覧	53
拡大企画委員・企画委員一覧	54

ご挨拶

このたび、第30回日本在宅ケア学会学術集会は2025年9月13日(土)～14日(日)に千里ライフサイエンスセンターで開催いたします。本学会設立から30年目を迎える記念の年に学術集会長を拝命いただき、大変光栄に思うと同時に、役員・会員・関係者の皆様に心より感謝いたします。

本学術集会のテーマは「サイエンスとひとが創り出す在宅ケア」です。わが国は、価値観の多様性をみとめられる豊かな社会となりました。しかし、成熟社会の特徴である少子超高齢化と生産年齢人口の減少という局面を迎え、持続性のあるケアのための新たな知恵が求められています。一方、Covid-19によるパンデミックの影響を受け、対人サービスや人々の交流に対する考え方が大幅に変化しています。また、IoT(Internet of Things)の急激な進化に伴い、医療・介護・福祉領域においてもデータサイエンスによるエビデンスを創出できる環境が整いつつあります。在宅ケアは、サイエンスと暖かい心をもって他者に寄り添えるひとによってつくる暮らしの場でのケアであり、これからの社会のニーズに応じた在宅ケアのあり方について検討することが重要と考えています。

これらの趣旨をふまえ、本学術集会の企画は大きく二本立てとしています。一つは、ヘルスサービスリサーチやリアル・ワールドデータ、シーティング・ロボットなど、サイエンスをキーワードとした企画をたてています。もう一つは、他者に寄り添うひとがつくるという点から、在宅ケアの質と財政の保証、人材育成、地域のつながりなどをキーワードとした企画を組んでいます。

具体的には、基調講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション、市民講座、インタレスト・トーク、企業協賛によるセミナーなどを会場で実施するほか、オンデマンド配信では在宅ケア実践者のためのスキルアップセミナーなど多彩なプログラムを準備しています。公募した、交流集会は10件、一般演題発表は206演題(実践報告92題、研究報告112題、取り下げ2題)と、近年まれにみる多数のご応募がありました。また、理事の先生方による各委員会セミナーや30周年記念講演・式典も行われ、皆様にお楽しみいただけることと思います。

大阪・関西万博が開催されている2025年9月、大阪の地に集い、これからの時代の人々の生活と健康をまもるために、在宅ケアに、どうサイエンスを生かすか、どのように人々のつながりや在宅ケア人材育成を推進するか、多様な切り口から意見を交わしましょう。関係者一同、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第30回日本在宅ケア学会学術集会
学術集会長 河野あゆみ
(大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学)

開催概要

第 30 回日本在宅ケア学会学術集会

<https://plaza.umin.ac.jp/jahc30/>

テーマ サイエンスとひとが創り出す在宅ケア

会 期 2025 年 9 月 13 日(土)～9 月 14 日(日)

会 場 千里ライフサイエンスセンター
大阪府豊中市新千里東町 1-4-2 TEL：06-6873-2010
最寄り駅：北大阪急行・大阪モノレール「千里中央」駅

学術集会長 河野 あゆみ(大阪公立大学 看護学部 地域包括ケア科学)

事務局長 三輪 恭子 (大阪公立大学 看護学部 在宅看護学)

オンデマンド配信期間 10 月 1 日(水)10：00～10 月 31 日(金)17：00

後 援 一般社団法人日本在宅ケアアライアンス、大阪府、大阪公立大学
公益社団法人大阪府看護協会、一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会
公益社団法人大阪介護支援専門員協会、日本訪問看護認定看護師協議会

助 成 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
独立行政法人日本学術振興会 令和 7 (2025) 年度 科学研究費
補助事業(科学研究費補助金)研究成果 公開促進費「研究成果公開発表」

■ 第 30 回日本在宅ケア学会学術集会 運営事務局

〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A あゆみコーポレーション内

TEL：06-6131-6605(平日 9-17 時)

E-mail：jahc30@a-youme.jp

■ 一般社団法人日本在宅ケア学会事務局(学会入会・会員登録情報の変更など)

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 株式会社毎日学術フォーラム内

TEL：03-6267-4550 FAX：03-6267-4555

E-mail：maf-jahc@mynavi.jp

参加者へのご案内

参加登録期間・参加費（支払方法：クレジットカードのみ）

区 分	1 次登録 2025 年 6 月 2 日(月) ～ 7 月 21 日(月・祝)	2 次登録 2025 年 7 月 25 日(金) ～ 10 月 31 日(金)
会員・賛助会員（不課税）	8,000 円	10,000 円
非会員（消費税 10% 込）	10,000 円	12,000 円
学部学生（消費税 10% 込）	3,000 円	
1 日券（消費税 10% 込）	7,000 円	

※1 日券では、オンデマンド配信の視聴はできません。

※学部学生の方は、ご登録時に本人証明のできる書類（学生証、身分証明証等）をアップロードしてください。証明するものがない場合、上記料金の適用ができませんので、予めご了承ください。

なお、院生の方は学部学生の区分では登録できません。

※上記金額に、抄録集冊子代、昼食代は含まれません。

※日本在宅ケア学会は免税事業者です。インボイス制度には対応しておりません。

9 月 14 日(日) 15:00 より第 2 会場（サイエンスホール）にて行われる市民講座は、公開プログラムとなっており、参加登録不要・参加費無料です。

1. プログラム集・抄録集

【プログラム集】

- ・抄録本文の掲載されていないプログラム集は、学術集会のホームページに公開いたします。どなたでもダウンロードしてご覧いただけます。
- ・プログラム集の事前送付はございません。
- ・印刷したプログラム集は、会場にて配布いたします。数に限りがございますので、なくなり次第、配布を終了させていただきます。

【抄録集】

- ・プログラム集の内容に加え、抄録本文を掲載した抄録集は、PDF 形式での配布となります。原則として、印刷物での配布は行いません。
- ・抄録集 PDF のダウンロード URL・閲覧パスワードは、参加費をご入金済みの皆様へ、メールにてご案内いたします。その後に参加登録・ご入金が完了された方には、入金確認メール内にて、ダウンロード URL・閲覧パスワードをご案内いたします。
- ・印刷冊子をご希望の方には、現地会場にて 1 冊 2,500 円（税込、現金のみ）で販売いたします。数に限りがございますので、なくなり次第、販売を終了いたします。

2. 参加証明書・領収書

参加証明書・領収書は、参加登録システムからご自身で発行・印刷ください。

※学術集会からの送付は行いません。

発行期間：2025年9月13日(土)～10月31日(金)17:00まで

参加証明書・領収書の発行(表示)された画面を一度閉じたり、リロード(更新)すると、「再発行」と表示されますので、印刷前にプリンタ設定をご確認ください。

3. 受付場所・受付時間

場 所：千里ライフサイエンスセンター5階 ロビー

時 間：2025年9月13日(土)8:30～16:00

2025年9月14日(日)8:30～15:30

4. 受付方法

本学術集会では、二次元(QR)コードを使用した受付を行います。

二次元コードは、スマートフォンやタブレットでご提示いただくか、印刷してご持参ください。

参加登録・入金が完了した方は、二次元コード・参加証(名札)・お弁当券がダウンロードいただけます。申込区分によりダウンロードできる内容が異なりますので、以下をご確認ください。

※ダウンロード開始は【8月末】を予定しており、詳細は別途メールでご案内いたします。

【1次・2次参加登録・入金済：申込区分が1日券以外の方】

- ・参加証(名札)・お弁当券(申込者のみ)を事前に印刷しご持参ください。
- ・ネームホルダーは受付にご用意しております。参加証をネームホルダーに入れ、会期中は常にご着用ください。
- ・ご都合のよい時間に、来場登録受付にて二次元(QR)コードをかざして来場登録をお願いいたします。両日参加される方は、いずれか1日の登録のみで結構です。

【1次・2次参加登録・入金済：申込区分が1日券の方】

- ・お弁当券(申込者のみ)を事前に印刷しご持参ください。
- ・受付にて、二次元コードをリーダーにかざしてください。
- ・参加証(名札)とネームホルダーをお渡しします。参加証をネームホルダーに入れ、会期中は常にご着用ください。

【参加登録がお済みでない方】

- ・当日の受付は混雑が予想されるため、事前にご自身の端末から参加登録システムにアクセスし、参加申込と入金(クレジット決済)を完了したうえで来場ください。
- ・登録・入金後、受付にて、二次元コードをリーダーにかざしてください。
- ・参加証(名札)とネームホルダーをお渡しします。参加証をネームホルダーに入れ、会期中は常にご着用ください。

5. クローク

場 所：千里ライフサイエンスセンター 5 階 ロビー

時 間：2025 年 9 月 13 日(土) 8:30 ～ 16:30

2025 年 9 月 14 日(日) 8:30 ～ 16:30

※会場の利用時間の関係により、**1 日目は最終セッション終了前にクロークが終了いたします。**

1 日目の最終セッションには、必ずお荷物を引き取った上でご参加ください。

備 考：お預けの荷物は当日中にお引き取りください。

貴重品、パソコン、雨傘はお預かりできません。

6. 飲食

会場の規定により、飲食物(お弁当などを含む)の持ち込みはできません。

【ランチョンセミナー】

- ・ 9 月 13 日(土)・14 日(日)の両日、第 1 会場(5 階 ライフホール)にて、お弁当付きランチョンセミナーを開催いたします。
- ・ ランチョンセミナーで提供するお弁当は数量限定となりますので、1 次参加登録期間の事前申込制です(無料)。
- ・ ランチョンセミナーと同時刻に開催されているセッションにつきましては、お弁当の配布はございません。
- ・ ランチョンセミナーのお弁当引換券は、セミナー開始 5 分後に無効となります。

【1 次参加登録でお弁当を購入された方】

- ・ 参加登録システムより、お弁当券(申込者のみ)を事前に印刷し、以下引換場所にご持参ください。
- ・ お弁当券と引換にお弁当をお渡しいたします。
- ・ 必ず引換時間内にお引き取りください。なお、引換時間を過ぎてもお引き取りがない場合には、適切に処理させていただきますので、予めご了承ください。
- ・ 環境への配慮のため、お弁当の空容器は、同引換場所まで各日 14:00 までにお持ちください。
- ・ お弁当は各講演会場にてお召し上がりいただけます。
- ・ 事前購入お弁当引換場所：第 2 会場(5 階サイエンスホール)前
引換時間：9 月 13 日(土)・14 日(日) 11:00 ～ 13:00

7. 企業・書籍展示

下記の通り行いますので、是非お立ち寄りください。

場 所：6 階 千里ルーム

時 間：9 月 13 日(土) 9:30 ～ 16:00

9 月 14 日(日) 9:00 ～ 15:00

8. 企業・書籍展示のスタンプラリー

- ・会期中、スタンプラリーを実施いたします。
 - ・受付(5 階ロビー)にスタンプラリーカードを設置しています。ご自由にお取りください。
 - ・6 階千里ルーム(ポスター・展示会場)内の展示ブースを巡って、8 個のスタンプを集めてください。
 - ・スタンプがそろったら、受付(5 階ロビー)で景品と引換えます(受付時間内にお越しください)。
 - ・各日先着 200 名様に景品をプレゼントします。景品がなくなり次第、配布を終了いたします。
- 皆さまのご参加をお待ちしております！

9. オンデマンド配信

期間：10 月 1 日(水)10:00～10 月 31 日(金)17:00

- ・第 1 会場・第 2 会場で実施されたうち、登壇者の承認を得たプログラムについては、後日オンデマンド配信を行います。配信対象のプログラムは、大会ホームページの「プログラム」ページをご確認ください。
- ・オンデマンド配信ページのご案内は、9 月下旬にメールにてお知らせいたします。
- ・参加登録時に【1 日券】を選択された方は、オンデマンド配信の視聴はできません。

10. スキルアップセミナー(オンデマンド配信のみ)

オンデマンド配信でのみ視聴可能です。会場での実施はございません。

セミナー詳細は、大会ホームページの「プログラム」ページをご確認ください。

<https://plaza.umin.ac.jp/jahc30/program/#pgm12>

1. 在宅ケアはどう変わる？ 2040 年問題に向けた制度の行方をひもとく
2. フットケアを始めよう！アセスメントと予防的ケアの基本
3. 暮らしのなかの認知症ケア～生活機能を引き出すワザと工夫
4. ケアに活かす東洋医学的アプローチ ーツボを刺激して治療力を高める手当ての基礎知識ー
5. 褥瘡ケアをアップデート！シーティングによる予防とスキンケア

【専門看護師・認定看護師 更新審査用「研修受講証明書」の発行】

- ・本セミナーを受講された専門看護師・認定看護師の方で、更新審査に必要な「研修受講証明書」の発行を希望される場合は、下記の要領で申請してください。
- ・申請方法：オンデマンド配信ページよりお手続きください
- ・申請期限：2025 年 10 月 31 日(金)17:00 まで

※ 期限を過ぎた場合、いかなる理由でも受付できませんのでご了承ください。

11. その他

- ・本学術集会の会場内では、Wi-Fi のご用意はございません。
- ・会場内では、携帯電話の電源をお切りいただくか、マナーモードに設定してください。
- ・講演・発表内容の写真撮影・録音・録画は禁止です。これらの行為は登壇者の著作権・肖像権等を侵害する可能性があり、固くお断りいたします。

座長・発表者へのご案内

1. 利益相反状態(COI)の開示

本学会での発表に際しては、COIの開示が必要です。

ご自身の発表に関連するCOIの有無をご確認いただき、該当するスライドを学術集会ホームページの「座長・演者の皆様へのご案内」よりダウンロードしてください。

【各講演・シンポジウム、パネルディスカッション、市民講座、委員会セミナー、インタレスト・トーク、交流集会ご発表の方】

- ・発表スライドの最初に、COI開示スライドを入れてください。

【一般演題ご発表の方】

- ・ポスター内に以下の文言を記載してください。
- ・COIなし：「演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。」
- ・COIあり：「演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業等は下記です。〇〇〇…」
- ・必要に応じて、ダウンロードしたCOIスライドを印刷し、ポスターパネルに貼付いただくことも可能です。

2. 座長の皆様へ

【各講演・シンポジウム・パネルディスカッション・市民講座の座長の皆様】

- ・ご担当セッションの開始予定時刻15分前までにご来場いただき、会場内右前方の進行席にいるスタッフにご到着の旨をお伝えください。
- ・時間厳守での進行にご協力をお願いいたします。

【一般演題の座長の皆様】

- ・セッション開始10分前を目安に、ご担当ポスター前までお越しください。
- ・各演題の持ち時間は、発表5分・質疑3分の計8分です。
- ・タイムキーパーは配置しておりませんので、計時は座長ご自身にてご対応をお願いいたします。
- ・欠席演題がある場合は、時間を詰めて次の演題へお進みください。
- ・時間厳守での進行にご協力をお願いいたします。

3. 発表者の皆様へ

【各講演、シンポジウム、パネルディスカッション、市民講座、委員会セミナーで発表の方】

1) 発表データの作成

- 発表はご自身の PC をお持ちいただくか、会場内備え付けの Windows PC でお願います。
- 作成にあたっては、「ご発表データの作成方法について」をご参照ください。

2) 発表データの受付

PC センターの受付日時・場所

場 所 千里ライフサイエンスセンター 5 階 ロビー

時 間 2025 年 9 月 13 日(土) 8:30 ～ 16:00

2025 年 9 月 14 日(日) 8:30 ～ 15:00

- 発表時間の 30 分前までに、「PC センター」で受付を行い、発表データの動作確認を行ってください。
- インタレスト・トーク、交流集会でご発表の方は「PC センター」での受付はございません。直接発表会場にデータをご持参の上、発表ください。

3) 発表方法

- すべてのセッションは、PC (Windows 版 PowerPoint) での発表となります。
- ご発表開始 15 分前までに、会場内左前方の「次演者席」にご着席ください。
- 舞台上にモニター、マウスをご用意しますので、発表スライドの操作はご自身をお願いします。
- 委員会セミナーは自主運営となります。企画者の方にて進行をお願いいたします。

【インタレスト・トーク、交流集会ご発表の方】

- 自主運営となります。
- 会場内には、パソコン・プロジェクター・スクリーン・マイク (3 本) を準備しておりますので、企画者の方にて進行をお願いいたします。
- 進行の都合で会場レイアウトを変更された場合は、終了後に必ず原状復帰をお願いいたします。
- インタレスト・トーク、交流集会でご発表の方は「PC センター」での受付はございません。直接発表会場にデータをご持参の上、発表ください。

【一般演題ご発表の方】

1) ポスター掲示・撤去時間

	発表演題	掲示時間	撤去時間
9月13日(土)	P1群～P5群	9:30～	16:00～17:00
9月14日(日)	P6群～P10群	9:00～	15:20～16:30

- ・ポスター会場は、6階千里ルームです。パネルを設置していますので、パネルには該当する演題番号の目印を掲示しております。掲示後は、目印をお外してください。
- ・ポスターの掲示には、パネル備え付けの画鋸をご使用ください。
- ・**今大会では、ポスターを開催日ごとに貼替えます。**掲示・撤去は、必ず指定時間内に行ってください。
- ・指定の撤去時間内に撤去されていないポスターについては、事務局で処分させていただきます。また、ポスターのお預かりや郵送は行いませんのでご了承ください。

2) ポスター様式

- ・**今大会では、演題番号の表示紙を事務局でご用意いたしません。**
- ・【演題番号】、【演題名】、【所属】、【氏名】を必ずポスター上部に記載してください。
- ・掲示場所のサイズは幅90cm、高さ210cmの予定です。ポスター下部は見えにくくなりますので、幅90cm×高さ160cm以内のエリアに掲示されることをお勧めします。

演題番号・演題名・所属・氏名は、ポスター上部に記載ください
 今大会では、演題番号を事務局で用意いたしません



3) 発表の進行

- ・1演題につき、発表5分、質疑3分の計8分です。セッションの進行は、座長に従ってください。
- ・発表セッションの開始10分前までには、ご自身のポスター前でご準備ください。必要時は、セッション開始前に座長と打ち合わせをお願いします。

4. ご発表データの作成方法について

【PC をお持込になる場合】

- ファイル名は「セッション名_名前(フルネーム).ppt」としてください。
(例：ランチョンセミナー 1_千里花子.ppt)
- スライドのサイズは 16：9 を推奨いたします。(4：3 のサイズも対応いたします)
- バックアップデータも合わせてお持込みください。
- PC センターではデータの動作確認のみを行っていただきます。PC 本体はご発表の 10 分前までにセッション会場内左前方にあります映像オペレーターにお渡しください。
- 運営事務局でご用意する接続コネクターは HDMI です。PC の外部モニター出力端子の形状をご確認ください。変換が必要な場合はご持参ください。



- PC の AC アダプターは必ず持参してください。
- 動画ファイルがある場合は、全データを同じファイルに入れてください。
- 予めスクリーンセーバー並びに省電力設定は「なし」にし、パスワード設定も解除してください。
- お持込いただく PC に保存されている貴重なデータの損失をさけるため、事前にデータのバックアップをお勧めいたします。

【データ(USB フラッシュメモリー等)をお持込になる場合】

- 会場内でご用意している PC(Windows)には Windows11 の Power Point(2021)をインストールしております。同環境にて正常に動作するデータをご用意ください。
- フォントは文字化けを防ぐため、Windows 標準フォント (MS ゴシック、MS P ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、メイリオ、Arial、Century、Times New Roman 等)をご使用ください。
- スライドのサイズは 16：9 を推奨いたします。(4：3 のサイズも対応いたします)
- 発表データに静止画やグラフ等のデータをリンクさせている場合は、必ず元データを一緒に保存していただき、事前に動作確認をお願いいたします。
- 静止画は JPEG 形式での作成を推奨いたします。
- お持込になる USB フラッシュメモリー等のウイルスチェックを事前に行なってください。
- PC センターで試写をしていただいたデータは LAN 回線を経由して、発表会場まで転送されます。お預けいただいたデータは発表後責任をもって運営事務局で消去いたします。
- 以下の場合についてはご自身の PC をお持込みください。
 - Mac を使用される場合
 - 動画を使用される場合(本体持込推奨、環境が異なると動作の保証ができません。)

会場へのアクセス

会場へのアクセスにつきましては、下記をご参照ください。

千里ライフサイエンスセンター アクセス案内

<https://www.senrilc.co.jp/access/japanese.html>



〈大阪メトロ御堂筋線直通 北大阪急行電鉄〉

箕面萱野方面の先頭車両に乗車。最寄駅：「千里中央」駅下車、徒歩 2 分。

所要時間：新大阪駅より約 15 分 大阪梅田駅より約 20 分

〈大阪モノレール〉

最寄駅：「千里中央」駅下車、徒歩 5 分

所要時間：大阪国際空港（伊丹空港）より約 15 分

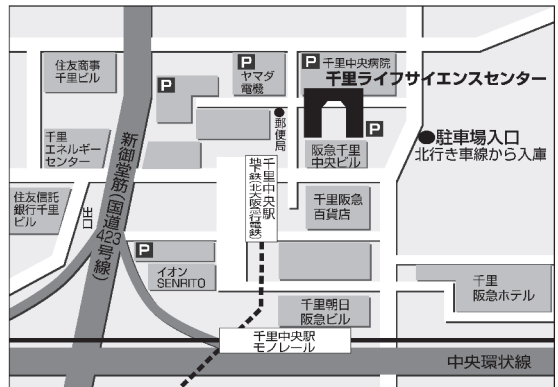
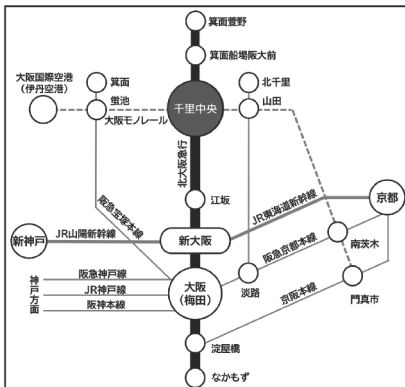
〈関西空港からお越しの方〉

(1) JR「新大阪」駅から地下鉄御堂筋線「箕面萱野」行に乗り換え「千里中央」駅で下車。

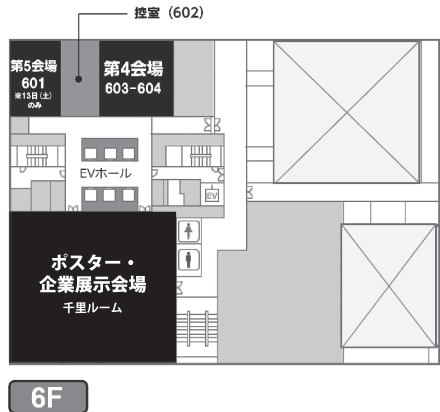
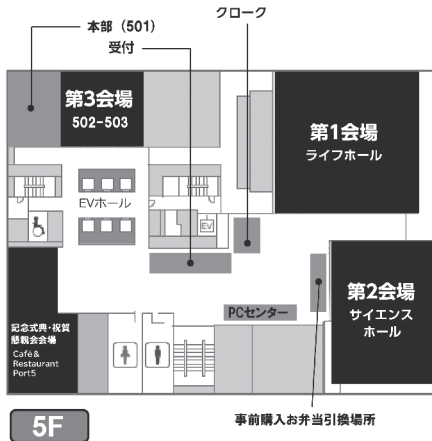
所要時間：約 1 時間 23 分

(2) 南海電気鉄道「難波」駅で地下鉄御堂筋線「箕面萱野」行に乗り換え「千里中央」駅で下車。

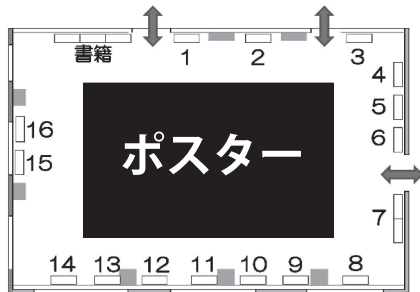
所要時間：約 1 時間 22 分



会場配置図



ポスター・企業展示会場



企業・書籍展示一覧

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1 株式会社ヤマト | 10 ナック商会株式会社 |
| 2 ディアケア株式会社 | 11 株式会社ゼスト |
| 3 株式会社 eWeLL | 12 せんねん灸発売元セネファ株式会社 |
| 4 株式会社レジーナ | 13 森下仁丹株式会社 |
| 5 第一三共ヘルスケア株式会社 | 14 東洋羽毛関西販売株式会社 |
| 6 株式会社共和 | 15 株式会社インボディ・ジャパン |
| 7 株式会社メルシー | 16 大阪医療的ケア児・者支援ネットワークWa! わっしょい |
| 8 太陽化学株式会社 | 書籍 株式会社紀伊國屋書店梅田本店 |
| 9 株式会社大塚製薬工場 | |

日程表

第1日目 9月13日(土)

📶: オンデマンド配信(予定)

9:00	第1会場 ライフホール(5階)	第2会場 サイエンスホール(5階)	第3会場 502+503(5階)	第4会場 603+604(6階)	第5会場※1日目のみ 601(6階)	ボスター会場 千里ルームAB(6階)	9:00
9:30							9:30
10:00	9:30-9:40 開会式 9:40-10:10 会長講演 サイエンスとひとが創り出す在宅ケア						10:00
10:30	10:20-11:20 基調講演1 人口減少・成熟社会におけるケアの質保証	10:20-11:20 教育講演1 リアルワールドデータ解析:最初の一步	10:00-11:20 委員会セミナー1 在宅ケアイノベーション研究研修委員会 在宅ケアイノベーション大賞!—大賞候補者の発表と審査決定—	10:00-11:20 交流集会1 意思決定支援OOVL表作成で在宅ケアの再構築—ACPを踏まえた事例の最速解の討論—	10:00-11:20 交流集会2 妻介護状態の方の在宅療養生活をささえるための費用対効果についての探求	10:30-11:20 一般演題1 (P1群) 多職種連携-1 教育・人材育成-1~3	10:30
11:00							11:00
11:30							11:30
12:00	11:40-12:30 ランチョンセミナー1 在宅ケアにおけるACPの実践:認知症の方へのACPを中心に (共催:株式会社黒松社/ディアケア株式会社)	11:30-12:30 会員報告会	11:40-12:30 協賛セミナー 36拠点における看護師主導"日本式在宅入院"モデルの全国展開 (協賛:医療法人AGRIE)	11:40-12:30 インタレスト・トーク1 新カリキュラム"地域・在宅看護論"の教育実践を語る	11:40-12:30 インタレスト・トーク2 働きながら介護を担う人々"ワーキングケアラー"の支援について考える		12:00
12:30							12:30
13:00	12:40-13:40 基調講演2 ヘルスサービスリサーチ在宅ケア—これまで、そしてこれから	12:40-14:00 パネルディスカッション1 人々のつながりてつくる地域見守り	12:40-14:00 委員会セミナー2 生涯教育委員会 要支援の認知症高齢者の意思決定支援における現場の課題—認知症基本法に書かれていることが"当たり前"になる日を目指して~	12:40-14:00 交流集会3 在日外国人への訪問ケアの円滑化に資するインテイクシートの開発	12:40-14:00 交流集会4 "地域・在宅看護論"での看護実践力を強化するための取り組み—OSCEを取り入れて~	12:40-13:30 一般演題2 (P2群) 教育・人材育成-4~7	13:00
13:30						13:30-14:20 一般演題3 (P3群) 医療・介護連携-1~2 地域包括ケア 家族支援	13:30
14:00	13:50-14:50 教育講演2 地域包括ケア時代の実践力を強化する看護基礎教育						14:00
14:30		14:10-15:30 パネルディスカッション2 新卒訪問看護師育成の今とこれから	14:10-15:30 委員会セミナー3 学会活動推進委員会 VUCA時代を迎えての在宅ケアへの期待	14:10-15:30 交流集会5 どう進める?訪問看護の生涯学習~日本訪問看護財団 訪問看護師のための生涯学習ガイドを活用して~	14:10-15:30 交流集会6 暮らしを支えるPOOマスターの俳優ケア—気持ちよく出すためのケアの共有—	14:20-15:10 一般演題4 (P4群) 在宅ケア-1~2 訪問看護管理-1~2	14:30
15:00							15:00
15:30	15:00-17:00 シンポジウム1 リアルワールドデータと在宅ケアのエビデンス					15:10-16:00 一般演題5 (P5群) 経営1~3 訪問看護管理-3	15:30
16:00		15:40-17:00 パネルディスカッション3 成熟社会における持続可能な医療・介護とは?	15:40-17:00 委員会セミナー4 ガイドライン作成委員会・改訂委員会 "在宅ケア実践ガイドライン2025"を実践の力にする~ガイドラインの読み解きと活用の実践~	15:40-17:00 交流集会7 災害時、誰もが<助かる>地域社会に向けて~地域で暮らしを医療のケア見守る防災について話あおう!~			16:00
16:30							16:30
17:00							17:00

第2日目 9月14日(日)

📺 : オンデマンド配信(予定)

9:00	第1会場 ライブホール(5階)	第2会場 サイエンスホール(5階)	第3会場 502+503(5階)	第4会場 603+604(6階)	ホスター会場 千里ルームAB(6階)	9:00
9:30	9:20-10:20 教育講演3 在宅ケア実践ガイドラインの開発とその成果	9:20-10:20 教育講演4 要介護高齢者の自立支援とリスク回避に向けたシーティング	9:20-10:00 論文賞記念講演		9:30-10:30 一般演題6 (P6群) 訪問看護管理-4~5 在宅ケア-3 テレナースィング・遠隔医療	9:30
10:00						10:00
10:30			10:10-11:30 委員会セミナー5 政策提言検討委員会 高度実践看護師の在宅療養での実践に関する調査研究報告 ～訪問看護事業所の組織・運営体制が利用者の死亡転帰に及ぼす影響に関する研究～	10:10-11:30 交流集会8 在宅医療におけるオールフレイルの予防と対応～多職種連携による口腔機能管理の重要性～	10:30-11:30 一般演題7 (P7群) 訪問看護管理-6 在宅ケア-4 多職種連携-2 優秀演題	10:30
11:00	10:30-11:30 創立30周年記念事業 特別講義&鼎談～新時代への在宅ケアを紡ぐ～	10:30-11:30 教育講演5 高齢者のための介護テクノロジーの在宅ケア実践への適用と倫理				11:00
11:30	一部オンデマンド配信対象外					11:30
12:00	11:50-12:40 ランチョンセミナー2 繁忙な退院支援部隊と地域をつなぐ訪問看護ステーションとの連携モデル (共催:株式会社eWell)	11:50-12:40 インタレスト・トーク3 地域共生型教育:地域ぐるみで在宅ケアを担う専門職を育てる～学生と地域住民の声を中心に～	11:50-12:40 拡大編集委員会	11:50-12:40 インタレスト・トーク4 暮らしの中にある倫理的課題:発見とその支援		12:00
12:30						12:30
13:00	12:50-13:50 教育講演6 ひとりぼっちをつくらない～すべての人に居場所と役割を～	12:50-14:10 パネルディスカッション4 人々のつながりとエンドオブライフケア	12:50-14:10 パネルディスカッション5 成熟社会の地域・在宅看護人材をつくる看護基礎教育	12:50-14:10 交流集会9 在宅ケアDX～デジタルツールで実現する、安心・安全な在宅ケア～	12:50-13:40 一般演題8 (P8群) 多職種連携-3~5 介護予防 高齢者福祉-1	13:00
13:30						13:30
14:00					13:40-14:30 一般演題9 (P9群) 高齢者福祉-2 入退院支援-1~2 地域福祉	14:00
14:30	14:00-16:00 シンポジウム2 成熟社会におけるこれからの在宅ケアの人材育成	15:00-16:00 市民講座 さみしくない家じまいと人生会議～生前整理と遺品整理～ ※参加登録不要でご参加いただけます	14:20-15:40 パネルディスカッション6 支援が届きにくい人々へのケアマネジメント	14:20-15:40 交流集会10 みんなで創る!在宅・救急外来間のシームレスな連携～繰り返し救急外来受診高齢者への「持続可能な在宅ケア」のあり方～	14:30-15:20 一般演題10 (P10群) エンドオブライフケア 医療的ケア見支援・障害福祉 意志決定支援・災害支援 認知症ケア・難病ケア・オールフレイル	14:30
15:00						15:00
15:30						15:30
16:00	一部オンデマンド配信対象外					16:00
16:30	16:00-16:10 閉会式					16:30
17:00						17:00

プログラム

プログラム

第1日目 9月13日(土)

開会式

9:30～9:40 第1会場(5階 ライフホール)

会長講演

9:40～10:10 第1会場(5階 ライフホール)

サイエンスとひとが創り出す在宅ケア

座長：村嶋 幸代(湘南医療大学大学院)

講師：河野 あゆみ(大阪公立大学)

委員会セミナー1 在宅ケアイノベーション研究研修委員会

10:00～11:20 第3会場(502+503)

在宅ケアイノベーション大賞！一大賞候補者の発表と審査決定ー

内田 陽子¹⁾、結城 美智子²⁾、中谷 久恵³⁾、梨木 恵実子¹⁾、崎山 恵里那⁴⁾、新井 明子⁵⁾、五十嵐 歩⁶⁾、池田 直樹⁷⁾、齋藤 緑⁸⁾、長谷川 幹⁹⁾、森田 久美子¹⁰⁾

1)群馬大学大学院、2)東北文化学園大学、3)広島大学大学院、4)群馬大学大学院博士後期課程、

5)群馬県看護協会訪問看護ステーション、6)千葉大学大学院、7)上本町総合法律事務所、

8)スギナーシングケア株式会社、9)世田谷公園前クリニック、10)東京科学大学大学院

座長：内田 陽子(群馬大学大学院)

講師：礪邊 朋美(NPO 法人ソルウェイズ)

大城 凌子(名城大学)

阪本 直人(神栖済生会病院／筑波大学)

人見 裕江(合同会社ねこの手みつ相談支援センターねこの手みつ

NPO 法人在宅何でもお手伝いねこの手みつ／ねこの手みつきらめき)

基調講演1

10:20～11:20 第1会場(5階 ライフホール)

人口減少・成熟社会におけるケアの質保証

座長：中谷 久恵(広島大学)

講師：山本 則子(東京大学大学院)

教育講演1

10:20～11:20 第2会場(5階 サイエンスホール)

リアルワールドデータ解析：最初の一步

座長：深堀 浩樹(慶應義塾大学)

講師：山本 陵平(大阪大学 キャンパスライフ健康支援・相談センター)

会員報告会

11:30～12:30 第2会場(5階 サイエンスホール)

ランチョンセミナー 1

11:40～12:30 第1会場(5階 ライフホール)

共催：株式会社照林社／ディアケア株式会社

在宅ケアにおける ACP の実際：認知症の方への ACP を中心に

座 長：小野 恵子(青森県立保健大学)

講 師：内田 陽子(群馬大学大学院)

協賛セミナー

11:40～12:30 第3会場(502+503)

共催：医療法人 AGRIE

36 拠点における看護師主導“日本式在宅入院”モデルの全国展開

座 長：岡山 久代(筑波大学)

講 師：伊藤 俊一郎(医療法人 AGRIE)

インタレスト・トーク 1

11:40～12:30 第4会場(603+604)

新カリキュラム「地域・在宅看護論」の教育実践を語ろう

藤田 俱子¹⁾, 服鳥 景子¹⁾, 菱田 知代¹⁾

1) 千里金蘭大学

インタレスト・トーク 2

11:40～12:30 第5会場(601)

働きながら介護を担う人々“ワーキングケアラー”の支援について考える

座 長：松原 みゆき(日本赤十字広島看護大学)

話題提供：深山 華織(武庫川女子大学)

平山 司樹(医療法人葛西医院 訪問看護ステーションかつさい)

基調講演 2

12:40～13:40 第1会場(5階 ライフホール)

ヘルスサービスリサーチと在宅ケア—これまで、そしてこれから

座 長：河野 あゆみ(大阪公立大学)

講 師：田宮 菜奈子(筑波大学)

パネルディスカッション 1

12:40～14:00 第2会場(5階 サイエンスホール)

人々のつながりでつくる地域見守り

座 長：板谷 智也(宮崎大学)

パネリスト：浜崎 優子(佛教大学)

小田 哲司(社会福祉法人松原市社会福祉協議会)

瀧吉 信彰(寝屋川市社会福祉協議会)

委員会セミナー 2 生涯教育委員会

12:40～14:00 第3会場(502+503)

要支援の認知症高齢者の意思決定支援における現場の課題 ～認知症基本法に書かれていることが当たり前になる日を目指して～

大野 かおり¹⁾, 内田 和宏²⁾, 小枝 美由紀³⁾, 古川 美和⁴⁾, 大村 佳代子¹⁾

1) 兵庫県立大学看護学部, 2) 武庫川女子大学心理・社会福祉学部, 3) 神戸女子大学看護学部,
4) 杏林大学保健学部

座 長: 内田 和宏(武庫川女子大学)

大村 佳代子(兵庫県立大学)

話題提供: 影山 康博(早稲田大学 人間総合研究センター／急性期医療機関 MSW)

岩垣 穂大(亜細亜大学)

小枝 美由紀(神戸女子大学)

教育講演 2

13:50～14:50 第1会場(5階 ライフホール)

地域包括ケア時代の実践力を強化する看護基礎教育

座 長: 梶井 文子(東京慈恵会医科大学)

講 師: 叶谷 由佳(横浜市立大学)

パネルディスカッション 2

14:10～15:30 第2会場(5階 サイエンスホール)

新卒訪問看護師育成の今とこれから

座 長: 岡本 双美子(三重大学大学院)

パネリスト: 林 佳美(大阪医科薬科大学訪問看護ステーション)

大藪 涯(訪問看護ステーションハートフリーやすらぎ)

辻村 真由子(滋賀医科大学)

委員会セミナー 3 学会活動推進委員会

14:10～15:30 第3会場(502+503)

VUCA 時代を迎えての在宅ケアへの期待

三輪 恭子¹⁾, 鹿内 あずさ²⁾, 丹羽 敦³⁾, 乗越 千枝⁴⁾, 葉袋 淳子⁵⁾

1) 大阪公立大学, 2) 北海道文教大学, 3) 福岡国際医療福祉大学, 4) 四天王寺大学,
5) 岐阜医療科学大学

座 長: 三輪 恭子(大阪公立大学)

話題提供: 井村 春香(にじのはな在宅看護センター)

粕井 剛士(らそうむグループ・社会福祉法人夢創)

山下 勝巳(株式会社山勝ライブラリ)

奥村 伸二(おくむら栄養クリニック)

シンポジウム 1

15:00～17:00 第1会場(5階 ライフホール)

リアルワールドデータと在宅ケアのエビデンス

座長：永田 智子(慶應義塾大学)

シンポジスト：成瀬 昂(SOMPO インスティテュート・プラス株式会社)

大槻 奈緒子(大阪公立大学)

柏木 聖代(東京科学大学大学院)

パネルディスカッション 3

15:40～17:00 第2会場(5階 サイエンスホール)

成熟社会における持続可能な医療・介護とは？

座長：武 ユカリ(森ノ宮医療大学)

パネリスト：足立 泰美(甲南大学)

西之坊 篤(一般社団法人南大阪介護事業所連盟)

岩本 大希(WyL 株式会社)

委員会セミナー 4 ガイドライン作成・改訂委員会

15:40～17:00 第3会場(502+503)

「在宅ケア実践ガイドライン 2025」を実践の力にする

～ガイドラインの読み解きと活用の実際～

臺 有桂¹⁾、榎本 雪絵²⁾、尾崎 章子³⁾、亀井 智子⁴⁾、河田 萌生⁴⁾、河野 光伸⁵⁾、
柳沼 恵³⁾、服部 ゆかり⁶⁾、平原 優美⁷⁾、石村 珠美⁸⁾、大野 洋一⁹⁾、蓮井 貴子¹⁰⁾、
大久 朋子²⁾、桑原 良子¹¹⁾、中山 直子¹⁾

1) 神奈川県立保健福祉大学、2) 杏林大学、3) 東北大学大学院、4) 聖路加国際大学大学院、5) 金城大学、
6) 東京大学医学部附属病院、7) 日本訪問看護財団、8) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部、
9) 高崎健康福祉大学、10) 日本赤十字北海道看護大学、11) 松本看護大学

代表世話人：臺 有桂(神奈川県立保健福祉大学)

共同世話人：榎本 雪絵(杏林大学)

話題提供者：平原 優美(日本訪問看護財団)

服部 ゆかり(東京大学医学部附属病院)

第2日目 9月14日(日)

教育講演 3

9:20～10:20 第1会場(5階 ライフホール)

在宅ケア実践ガイドラインの開発とその成果

座 長：榎本 雪絵(杏林大学)

講 師：亀井 智子(聖路加国際大学大学院)

教育講演 4

9:20～10:20 第2会場(5階 サイエンスホール)

要介護高齢者の自立支援とリスク回避に向けたシーティング

座 長：河野 光伸(金城大学/金城大学大学院)

講 師：白井 みどり(大阪公立大学大学院)

論文賞記念講演

9:20～10:00 第3会場(502+503)

座 長：菊地 ひろみ(札幌市立大学)

奨励論文賞

認知症の行動心理症状にあわせて家族介護者が対応するための介入の効果：

システムティックレビュー

内田 和宏(武庫川女子大学)

優秀論文賞

新規要支援高齢者の介護サービス利用パターンによる5年間保険支出額と障害調整
生命年を用いた費用効果分析

三浦 剛(大阪公立大学大学院)

委員会セミナー 5 政策提言検討委員会

10:10～11:30 第3会場(502+503)

高度実践看護師の在宅療養での実践に関する調査研究報告

～訪問看護事業所の組織・運営体制が利用者の死亡転帰に及ぼす影響に関する研究～

高砂 裕子¹⁾、長江 弘子²⁾、叶谷 由佳³⁾、篠原 真咲⁴⁾、成瀬 昂⁵⁾、岩本 大希⁶⁾、
藤野 泰平⁷⁾、吉江 悟⁸⁾

1) 南区医師会訪問看護ステーション、2) 亀田医療大学、3) 横浜市立大学、4) 大阪公立大学、

5) SOMPO インスティテュート・プラス株式会社、6) ウィル訪問看護ステーション、

7) 株式会社デザインケア、8) 一般社団法人 Neighborhood Care

座 長：叶谷 由佳(横浜市立大学)

高砂 裕子(南区医師会訪問看護ステーション)

話題提供：成瀬 昂(SOMPO インスティテュート・プラス株式会社)

篠原 真咲(大阪公立大学)

藤野 泰平(株式会社デザインケア)

創立 30 周年記念事業

10:30～11:30 第1会場(5階 ライフホール)

特別講義 & 鼎談～新時代への在宅ケアを紡ぐ～

特別講演

座長：中谷 久恵(日本在宅ケア学会理事長)

講師：新田 國夫(日本在宅ケアアライアンス理事長)

鼎談

新田 國夫(日本在宅ケアアライアンス理事長)

白澤 政和(元日本在宅ケア学会理事長 第2代理事長)

亀井 智子(前日本在宅ケア学会理事長 第3代理事長)

教育講演 5

10:30～11:30 第2会場(5階 サイエンスホール)

高齢者のための介護テクノロジーの在宅ケア実践への適用と倫理

座長：長畑 多代(大阪公立大学大学院)

講師：島村 敦子(東邦大学)

ランチョンセミナー 2

11:50～12:40 第1会場(5階 ライフホール)

共催：株式会社 eWeLL

繁忙な退院支援部隊と地域をつなぐ訪問看護ステーションとの連携モデル

座長：北村 亜沙子(株式会社 eWeLL)

講師：勝眞 久美子(テキックス株式会社)

吉田 麻美(大阪大学医学部附属病院)

インタレスト・トーク 3

11:50～12:40 第2会場(5階 サイエンスホール)

地域共生型教育：地域ぐるみで在宅ケアを担う専門職を育てる～学生と地域住民の声を中心に～

丸尾 智実¹⁾，岩本 里織¹⁾

1) 神戸市看護大学

拡大編集委員会

11:50～12:40 第3会場(502+503)

インタレスト・トーク 4

11:50～12:40 第4会場(603+604)

暮らしの中にある倫理的課題：発見とその支援

岡野 明美¹⁾

1)大阪公立大学大学院看護学研究科

教育講演 6 ー公開プログラムー

12:50～13:50 第1会場(5階 ライフホール)

ひとりぼっちをつくらない～すべての人に居場所と役割を～

座 長：岡田 進一(大阪公立大学大学院)

講 師：勝部 麗子(豊中市社会福祉協議会)

パネルディスカッション 4 ー公開プログラムー

12:50～14:10 第2会場(5階 サイエンスホール)

人々のつながりとエンドオブライフケア

座 長：平原 優美(公益財団法人日本訪問看護財団)

パネリスト：石山 麗子(国際医療福祉大学大学院)

小野 恵子(公立大学法人青森県立保健大学)

小野 若菜子(東京都立大学)

パネルディスカッション 5

12:50～14:10 第3会場(502+503)

成熟社会の地域・在宅看護人材をつくる看護基礎教育

座 長：片倉 直子(神戸市看護大学)

パネリスト：清水 準一(東京医療保健大学)

臺 有桂(神奈川県立保健福祉大学)

李 錦純(関西医科大学大学院)

シンポジウム 2 ー公開プログラムー

14:00～16:00 第1会場(5階 ライフホール)

成熟社会におけるこれからの在宅ケアの人材育成

座 長：三輪 恭子(大阪公立大学)

乗越 千枝(四天王寺大学)

シンポジスト：藤野 泰平(株式会社デザインケア みんなのかかりつけ訪問看護ステーション)

竹本 与志人(岡山県立大学)

小林 正宜(医療法人 葛西医院)

パネルディスカッション 6

14:20～15:40 第3会場(502+503)

支援が届きにくい人々へのケアマネジメント

座長：井上 高博(名古屋市立大学大学院)

パネリスト：平山 司樹(医療法人葛西医院 訪問看護ステーションかつさい)

杉山 京(大阪公立大学大学院)

綾部 貴子(梅花女子大学)

市民講座 ー公開プログラムー

15:00～16:00 第2会場(5階 サイエンスホール)

さみしくない家じまいと人生会議 ～生前整理と遺品整理～

座長：濱吉 美穂(佛教大学)

講師：濱吉 美穂(佛教大学)

屋宜 明彦(株式会社スリーマインド/一般社団法人心結)

閉会式

16:00～16:10 第1会場(5階 ライフホール)

スキルアップセミナー（オンデマンド配信のみ）

スキルアップセミナー 1

在宅ケアはどう変わる？ 2040 年問題に向けた制度の行方をひもとく

講 師：石井 富美(多摩大学大学院／関西学院大学大学院／

大阪公立大学大学院／ヘルスケアビジネス経営人材育成研究所)

スキルアップセミナー 2

フットケアを始めよう！アセスメントと予防的ケアの基本

講 師：間宮 直子(大阪府済生会吹田病院)

スキルアップセミナー 3

暮らしのなかの認知症ケア～生活機能を引き出すワザと工夫

講 師：田中 寛之(大阪公立大学)

スキルアップセミナー 4

ケアに活かす東洋医学的アプローチ ーツボを刺激して治癒力を高める手当ての基礎知識ー

講 師：高山 美歩(東京有明医療大学)

スキルアップセミナー 5

褥瘡ケアをアップデート！シーティングによる予防とスキンケア

講 師：篠原 真咲(大阪公立大学)

交 流 集 会

交流集会 1

9月13日(土)10:00～11:20

第4会場(603+604)

意思決定支援 OOVL 表作成で在宅ケアの再構築—ACPを踏まえた事例の最適解の討論—

内橋 恵¹⁾, 井村 春香²⁾, 眞榮 和紘³⁾, 岡本 三佳⁴⁾, 青山 ヒフミ⁵⁾

1)脳卒中と栄養ケア 在宅支援 Nurture, 2)にじのはな在宅看護センター, 3)AMI 株式会社,
4)姫路大学, 5)千里金蘭大学

交流集会 2

9月13日(土)10:00～11:20

第5会場(601)

要介護状態の方の在宅療養生活をささえるための費用対効果についての探求

藤井 かし子¹⁾, 林 純子¹⁾, 渡辺 一夫²⁾

1)東京家政大学健康科学部看護学科, 2)日本メディカルファンド株式会社 ライフケアラボラトリー

交流集会 3

9月13日(土)12:40～14:00

第4会場(603+604)

在日外国人への訪問ケアの円滑化に資するインテイクシートの開発

河野 眞^{1,4)}, 宮本 圭²⁾, 村瀬 順二^{3,4)}

1)国際医療福祉大学小田原保健医療学部, 2)順天堂大学医療看護学部,
3)名古屋市療養サービス事業団, 4)国際リハビリテーション研究会

交流集会 4

9月13日(土)12:40～14:00

第5会場(601)

「地域・在宅看護論」での看護実践力を強化するための取り組み—OSCEを取り入れて—

蘭 直美¹⁾, 前田 修子¹⁾, 伊藤 真夕¹⁾, 清嶋 茜¹⁾

1)金沢医科大学看護学部

交流集会 5

9月13日(土)14:10～15:30

第4会場(603+604)

どう進める？訪問看護の生涯学習

～日本訪問看護財団 訪問看護師のための生涯学習ガイドを活用して～

平原 優美¹⁾, 大竹 尊典¹⁾, 高橋 洋子¹⁾, 小林 弘美¹⁾

1)公益財団法人 日本訪問看護財団

交流集会 6

9月13日(土)14:10～15:30

第5会場(601)

暮らしを支える P00 マスターの排便ケア ー気持ちよく出すためのケアの共有ー

森本 瑞恵¹⁾、井原 浩子¹⁾、植木 七絵²⁾、嶋村 尚代³⁾、湊崎 陽子⁴⁾、掘田 陽子⁵⁾

1)もみじ訪問看護ステーション、2)ゆうりん訪問看護ステーション、3)おひさまクリニック西宮、
4)たまつ訪問看護ステーション、5)なないろ高槻訪問看護ステーション

交流集会 7

9月13日(土)15:40～17:00

第4会場(603+604)

災害時、誰もがく助かる>地域社会に向けて～地域で暮らす医療的ケア児者の防災について話あおう！～

阪上 由美¹⁾、中村 千賀¹⁾、平松 瑞子²⁾

1)大阪信愛学院大学看護学部、2)パーム訪問看護ステーション茨木市

交流集会 8

9月14日(日)10:10～11:30

第4会場(603+604)

在宅医療におけるオーラルフレイルの予防と対応 ー多職種連携による口腔機能管理の重要性ー

豆野 智昭¹⁾、三輪 俊太^{1,2)}、池邊 一典¹⁾

1)大阪大学大学院歯学研究科 有床義歯補綴学・高齢者歯科学講座、
2)医療法人社団恵真会 Ihana 歯科岐阜

交流集会 9

9月14日(日)12:50～14:10

第4会場(603+604)

在宅ケア DX ーデジタルツールで実現する、安心・安全な在宅ケアー

坪田 康佑¹⁾、丸田 雄貴²⁾、木村 信之³⁾、石川 加奈子⁴⁾

1)国際医療福祉大学、2)株式会社ゼスト、3)TOPPAN 株式会社、4)株式会社 grigry

交流集会 10

9月14日(日)14:20～15:40

第4会場(603+604)

みんなで創る！在宅・救急外来間のシームレスな連携

～繰り返す救急外来受診高齢者への“持続可能な在宅ケア”のあり方～

井村 春香^{1,2)}、寺本 千恵²⁾、中西 友子³⁾、具志 陽宏⁴⁾、石川 伸昭⁵⁾、大元 雅代^{2,6)}

1)にじのはな在宅看護センター、2)広島大学大学院医系科学研究科、
3)国家公務員共済組合連合会名城病院 医療連携センター、
4)独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院、5)広島市宇品・似島地域包括支援センター、
6)福山平成大学看護学部看護学科 在宅看護領域

一般演題

*マークは実践報告、マークなしは研究報告です。

P1 群 多職種連携 -1

9月13日(土)10:30~11:20
座長:王 麗華(大東文化大学)

P1-1-1 * 生活スタイルの再構築が必要な高齢患者の自宅退院に向けた退院支援を試みて
～入院を機にADLが低下し排泄の介助が必要となった患者～

朝妻 早紀¹⁾, 藤縄 マスミ¹⁾, 浜松 めぐみ¹⁾
1)富山県済生会富山病院

P1-1-2 * 施設間の効果的な退院カンファレンス実現に向けた取り組み

潮崎 理恵¹⁾, 芝本 真帆²⁾, 山下 祥宏³⁾, 中島 紀子⁴⁾, 後藤 夏美⁵⁾,
春岡 登志子⁶⁾, 門野 杏子⁷⁾
1)ぐりーん2訪問看護ステーション, 2)医療法人優仁会 かとう整形在宅クリニック,
3)医療法人結新会 結新会ホームケアクリニック玉造, 4)日本赤十字社 大阪赤十字病院,
5)大阪ろうさい病院, 6)大阪地域医療連携合同協議会, 7)森ノ宮医療大学

P1-1-3 * 急性期病院におけるMSWの地域包括ケア実践
外来患者相談窓口を通じた地域包括ケアの実現に向けた取り組み

泉本 大祐¹⁾, 橋爪 祥人¹⁾, 上中居 幹太¹⁾, 畑中 里香¹⁾, 吉鶴 伸太郎¹⁾,
廣西 和代¹⁾, 恋中 理恵¹⁾, 神保 昌世¹⁾, 大槻 奈緒子²⁾
1)橋本市市民病院, 2)大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野

P1-1-4 * 急性期病棟において多職種連携し2.5日間で行った在宅調整

須藤 理香¹⁾, 柳澤 沙織¹⁾
1)JA長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター

P1-1-5 * 高度救命センターにおいて終末期の在宅調整を行った一事例

井上 幸子¹⁾, 松田 奈央¹⁾, 野坂 友希¹⁾, 吉野 早苗¹⁾
1)鳥取大学医学部附属病院高度救命センター

P1 群 教育・人材育成 -1

9月13日(土)10:30~11:20
座長:鷺見 尚己(北海道大学大学院)

P1-2-1 在宅看護学実習ルーブリック評価に対する学生の捉え方
計量テキスト分析アプローチから

乗越 千枝¹⁾, 小林 裕美¹⁾, 矢野 真理¹⁾, 金本 純子¹⁾
1)四天王寺大学

P1-2-2 看護系大学教員の『きらきら訪問ナース』の認知度とその育成に関する考え

牛久保 美津子¹⁾, 柏瀬 淳¹⁾, 棚橋 さつき²⁾, 斎藤 基³⁾
1)群馬大学大学院保健学研究科, 2)高崎健康福祉大学, 3)群馬パース大学

P1-2-3 認知症対応型共同生活介護の管理者が抱える施設内研修の困難感とニーズ

安田 温子¹⁾
1)たまつ訪問看護ステーション

P1-2-4 日本の看護職における自律性に関する文献検討

仁科 祐子¹⁾, 谷垣 静子²⁾, 乗越 千枝⁴⁾, 長江 弘子³⁾, 岡田 麻里⁵⁾,
高橋 健一¹⁾, 金子 周平⁶⁾

1) 鳥取大学医学部保健学科, 2) 岡山大学大学院, 3) 亀田保健医療大学看護学部
4) 四天王寺大学看護学部, 5) 香川県立保健医療大学保健医療学部, 6) 九州大学大学院

P1-2-5 多職種連携基盤型事例検討会「わかる事例検討会」の効果と参加回数の関連
—参加者アンケート調査結果から—

大沼 由香¹⁾, 赤間 由美²⁾, 松尾 泉³⁾, 太田 ゆきの⁴⁾,
内藤 恵介⁴⁾, 阿部 鮎美⁴⁾

1) 宮城大学看護学群, 2) 山形大学医学部, 3) 弘前医療福祉大学保健学部,
4) 岩手保健医療大学看護学部

P1 群 教育・人材育成 -2

9月13日(土)10:30~11:20

座長: 小林 裕美(株式会社在宅看護実践研究所)

P1-3-1 高齢化の進む自治体の介護施設職員の高齢者ケアに対する困難の実態と支援ニーズ
—介護施設リハビリスタッフへのインタビュー調査—

細川 舞¹⁾, 小嶋 美沙子¹⁾, 鈴木 睦¹⁾, 及川 紳代¹⁾,
岡田 みずほ¹⁾, 千田 睦美¹⁾, 新田 義修²⁾

1) 岩手県立大学看護学部, 2) 岩手県立大学総合政策学部

P1-3-2 高齢化の進む自治体の介護施設職員の高齢者ケアに対する困難の実態と支援ニーズ
—介護保険施設の介護士へのインタビュー調査—

小嶋 美沙子¹⁾, 細川 舞¹⁾, 鈴木 睦¹⁾, 及川 紳代¹⁾,
岡田 みずほ¹⁾, 千田 睦美¹⁾, 新田 義修²⁾

1) 岩手県立大学看護学部, 2) 岩手県立大学総合政策学部

P1-3-3 高齢化の進む自治体の介護施設職員の高齢者ケアに対する困難の実態と支援ニーズ
—介護保険施設の看護師へのインタビュー調査—

鈴木 睦¹⁾, 及川 紳代¹⁾, 細川 舞¹⁾, 小嶋 美沙子¹⁾,
岡田 みずほ¹⁾, 千田 睦美¹⁾, 新田 義修²⁾

1) 岩手県立大学看護学部, 2) 岩手県立大学総合政策学部

P1-3-4 学生は在宅看護学実習の看護実践において何に挑戦し、何を学んだのか

前田 修子¹⁾, 蘭 直美¹⁾, 福田 守良¹⁾, 伊藤 真夕¹⁾

1) 金沢医科大学看護学部

P1-3-5 特別養護老人ホームの看護職の看護実践能力向上のための教育支援
看護管理者の認識と取り組みの質的分析

阿部 鮎美¹⁾, 三浦 靖彦¹⁾, 大沼 由香²⁾

1) 岩手保健医療大学看護学部, 2) 宮城大学看護学群

P1 群 教育・人材育成 -3

9月13日(土)10:30~11:20

座長: 酒井 昌子(聖隷クリストファー大学)

P1-4-1 多職種連携能力のリスキングに向けた事例検討会
「わかる事例検討会」参加による対人支援職コンピテンシーの習得

赤間 由美¹⁾, 松尾 泉³⁾, 堀田 聡子⁴⁾, 大沼 由香²⁾

1) 山形大学医学部看護学科, 2) 宮城大学看護学群, 3) 弘前保健医療福祉大学保健学部,
4) 慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科

P1-4-2 在日外国人の高齢者介護支援における在宅ケア専門職の実践の特徴と教育ニーズ

李 錦純¹⁾, 山本 大祐¹⁾, 高橋 美沙子¹⁾, 那須ダグバ 潤子²⁾

1) 関西医科大学看護学部, 2) 京都橘大学看護学部

P1-4-3 作品「解夏」を用いた看護学生が療養者の家族として考える疑似体験により思考したこと

藤田 俱子¹⁾, 菱田 知代²⁾, 青木 美樹³⁾

1) 千里金蘭大学大学院看護学研究科, 2) 千里金蘭大学看護学部,
3) 千里金蘭大学大学院看護学研究科修士課程

P1-4-4 * 訪問看護の実践者が担う教育の効果と学生の意識変化

平山 司樹¹⁾

1) 医療法人葛西医院 訪問看護ステーションかつさい

P1-4-5 * 「地域・在宅看護論における通信制看護学生を対象としたフィールドワーク実践報告」

竹内 千亜紀¹⁾, 松下 有実子¹⁾

1) 大阪滋慶学園 大阪保健福祉専門学校 看護通信教育科

P2 群 教育・人材育成 -4

9月13日(土)12:40~13:30

座長: 上野 まり(日本在宅ケア教育研究センター)

P2-1-1 地域包括支援センターにおける ACP 推進の現状と課題

林 純子¹⁾

1) 東京家政大学

P2-1-2 在宅現場における新卒看護師の関心と学び ～リフレクションレポートの分析から～

神崎 喜代子¹⁾, 山田 真理子¹⁾

1) 楽らくサポートセンター レスビケアナース

P2-1-3 * ケアマネジャーの難病ケアマネジメントの困難さ、ニーズに着目して
～地域での研修会開催を通しての学び～

菊地 教継¹⁾

1) 弘前医療福祉大学 在宅ケア研究所附属 訪問看護リハビリステーション そら

P2-1-4 * 実践型感染対策研修を通じた介護保険事業者非医療職の意識と自信度の変容

齊藤 和美¹⁾, 橋本 美穂¹⁾, 藤原 かれん¹⁾, 横井 美香¹⁾,

仙田 寿子¹⁾, 平松 由佳¹⁾

1) 大阪市平野区保健福祉センター

P2-1-5 * 小規模機能介護施設での「看取り研修」実践報告

杉本 由起子^{1,2)}, 下垣内 美貴¹⁾, 脇塚 美絵²⁾

1) 広島国際大学看護学部, 2) 医療法人社団葵会 AOI ケアリングステーション

P2 群 教育・人材育成 -5

9月13日(土)12:40~13:30
座長:松本 啓子(香川大学)

P2-2-1 * 自治体保健師と訪問看護師が共に学ぶ岩手県の「にも包括」勉強会 —それぞれの役割を考えるきっかけづくりの取り組み—

三井 美波¹⁾, 高岩 奈津美¹⁾, 蘇武 彩加¹⁾, 後藤 未央子¹⁾,
菊池 由紀²⁾, 工藤 朋子¹⁾

1)岩手県立大学看護学, 2)岩手県立大学大学院看護学研究科院生

P2-2-2 * 同行訪問を行うことで、入院することなくスキントラブルを改善できた1例

森本 伸一郎¹⁾, 吉田 康嗣¹⁾, 岩元 祐樹¹⁾

1)エヌアート訪問看護ステーション

P2-2-3 * 賃貸シニアレジデンス入居者と看護大学生との世代間交流プログラム 暮らしの場で行う世代間交流プログラムの一例

森田 久美子¹⁾, 丸山 佳代¹⁾, 大平 綾美¹⁾, 山本 晴美²⁾, 石井 佳代子³⁾,
角田 紘子^{1,4)}, 中村 康朋⁵⁾, 田代 雅之⁶⁾, 宮田 仁美⁶⁾, 栗山 伸⁶⁾

1)東京科学大学, 2)東都大学沼津ヒューマンケア学部, 3)和洋女子大学,
4)日本赤十字看護大学さいたま看護学部, 5)野村不動産ウェルネス, 6)野村不動産

P2-2-4 * 名古屋市立大学大学院看護学研究科の地域包括ケアを意識した 在宅看護学実習の実践報告

山本 翔太¹⁾, 井上 高博¹⁾, 秋山 明子¹⁾

1)名古屋市立大学大学院看護学研究科

P2-2-5 * リハビリテーション専門職が自立支援の機能強化に向けて行った間接的支援 デイサービス職員へのICTを活用した遠隔支援の取り組み

中瀬 咲子¹⁾, 安齋 紗保理²⁾, 山中 信³⁾, 植田 拓也³⁾,
新井 武志⁴⁾, 柴 喜崇⁵⁾

1)武蔵野みどり診療所, 2)城西国際大学福祉総合学部理学療法学科,
3)東京都健康長寿医療センター研究所 東京都介護予防・フレイル予防推進支援センター,
4)長野県立大学大学院 健康栄養科学研究科, 5)福島県立医科大学保健科学部理学療法学科

P2 群 教育・人材育成 -6

9月13日(土)12:40~13:30
座長:吉田 千文(前聖路加国際大学)

P2-3-1 * コミュニティケアサポーター養成プログラム開発への実践報告 「いきいきゆんたくケアセミナー」での場づくりを通して

大城 凌子¹⁾, 伊波 弘幸¹⁾, 溝口 広紀¹⁾

1)公立大学法人 名城大学

P2-3-2 * 訪問看護師がリハビリテーションの視点をもつことで得られた意識の変化 オンラインを活用した訪問看護事業所へのリハビリテーション支援

梅谷 貴彦¹⁾, 中瀬 美穂¹⁾, 菊地 華恵²⁾, 小高 智美²⁾, 丸山 加寿子³⁾

1)株式会社 Care Creation ケアクリ看護センター,
2)合同会社あまねあまね看護ステーション, 3)森ノ宮医療大学

P2-3-3 * 実践知の共有を目指した事例検討会の開催

間 京佳¹⁾, 小林 喜実代¹⁾

1)公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院

P2-3-4 ＊看護学生による地域住民の互助意識醸成を目指した生活モデル的 ACP 実践への取り組み
認知症になっても住み慣れた地域での暮らしを営める地域づくり

小野塚 元子^{1,2,3,4,5)}, 家根 明子²⁾, 高城 絵美³⁾, 鈴木 隆史³⁾,
柳澤 奈美⁴⁾, 林 祐一³⁾, 木谷 尚美⁵⁾

1)長野県看護大学, 2)周南公立大学, 3)敦賀市立看護大学, 4)四天王寺大学,
5)富山県立大学

P2-3-5 ＊複雑化した課題を抱えたケースにおける「見える化」の試み
～在宅ケア「あるある事例集」作成の取組みから得たもの～

富永 壮¹⁾, 浅野 満¹⁾, 井上 茜¹⁾, 池田 和歌子¹⁾, 市川 美奈¹⁾

1)千歳市北区地域包括支援センター

P2 群 教育・人材育成-7

9月13日(土)12:40～13:30
座長:野元 由美(産業医科大学)

P2-4-1 ＊新卒訪問看護師のキャリア選択
～変わるライフスタイル、変わらない看護がしたい想い～

中西 真理奈¹⁾

1)株式会社デザインケア みんなのかかりつけ訪問看護ステーション

P2-4-2 ＊新卒訪問看護師からスタートした看護師キャリア
～訪問看護、一般病棟、ホスピス・緩和ケア病棟を経験して～

渡辺 優美¹⁾

1)淀川キリスト教病院

P2-4-3 ＊看護教育における授業「看護と芸術」を取り入れて(実践報告)

入江 多津子¹⁾, 佐藤 みつ子¹⁾

1)SBC 東京医療大学

P2-4-4 ＊中山間地域を持つ自治体における災害時の乳幼児家庭に関する多職種協働ワーク
の実践 一災害時の在宅避難者の状況と地域支援体制構築への示唆一

畠山 典子¹⁾, 村田 英里²⁾

1)国立保健医療科学院, 2)高知県土佐清水市役所

P2-4-5 ＊大規模化を可能にした訪問看護事業所における人材育成
～トライ&エラーで方法を編み出す～

山田 真理子¹⁾, 神崎 喜代子¹⁾

1)楽しくサポートセンター レスビケアナース

P3 群 医療・介護連携-1

9月13日(土)13:30～14:20
座長:生田 花澄(虎ノ門病院)

P3-1-1 小離島診療所医師からみたアドバンス・ケア・プランニングの現状と課題

井上 高博¹⁾, 江 啓発¹⁾, 馬場 保子²⁾, 石川 美智²⁾

1)名古屋市立大学大学院看護学研究科, 2)長崎県立大学看護栄養学部看護学科

P3-1-2 ホルモン療法を受けた閉経前乳がんサバイバーの思い

田中 享子^{1,2)}, 平生 祐一郎²⁾, 六角 僚子²⁾

1)報徳看護専門学校, 2)三重県立看護大学大学院

P3-1-3 地域在住の糖尿病患者を対象とした離散選択実験によるかかりつけ医機能の検討
糖尿病患者における離散選択実験によるかかりつけ医機能の検討

田中 理恵¹⁾

1) 筑波大学 医学医療系

P3-1-4 心不全療養者における要介護認定の有無と訪問看護回数との関連

石川 武雅^{1,2)}, 関口 亮子^{1,2)}, 深田 悠花^{1,2)}, 勝真 久美子²⁾

1) なーる訪問看護デベロップメントセンター, 2) なーる訪問看護ステーション

P3-1-5 訪問看護師による終末期がん療養者への EOL discussions タイミング評価尺度の開発

浅海 くるみ¹⁾, 大木 正隆¹⁾, 大橋 渉²⁾

1) 東京工科大学医療保健学部看護学科, 2) 愛知医科大学臨床研究支援センター

P3 群 医療・介護連携-2

9月13日(土)13:30~14:20
座長: 新井 香奈子(滋賀県立大学)

P3-2-1 小離島におけるフレイルサポーターによる地域高齢者の終末期の迎え方に対する思い

馬場 保子¹⁾, 井上 高博²⁾, 石川 美智¹⁾, 江 啓発²⁾

1) 長崎県立大学シーボルト校, 2) 名古屋市立大学 大学院看護学研究科

P3-2-2 骨転移の症状による困難に対処している在宅がん患者の生活体験

河野 智一¹⁾, 新井 香奈子²⁾

1) 長浜病院訪問看護ステーション, 2) 滋賀県立大学人間看護学研究院

P3-2-3 退院支援カンファレンスへの家族・地域ケア提供者の参加
新型コロナウイルス感染症流行期間における全国調査

永田 智子¹⁾

1) 慶應義塾大学

P3-2-4 * 要介護高齢者の「最後まで口から食べる」を支える家族介護者の取り組み事例

藤井 かし子¹⁾

1) 東京家政大学

P3-2-5 * この褥瘡、治るかもしれない ～日々のケアの大切さを学んだ事例～

服部 明香¹⁾, 三宅 喜代美²⁾, 堤 弘子¹⁾, 大坪 久美子¹⁾

1) 医療法人偕行会老人保健施設ケア・サポート新茶屋,

2) 医療法人偕行会在宅医療事業部

P3 群 地域包括ケア

9月13日(土)13:30~14:20
座長: 石垣 恭子(兵庫県立大学)

P3-3-1 僻地・過疎地域在住者の意思決定支援に関する文献検討

松村 友紀子¹⁾, 生野 繁子²⁾, 吉田 公美³⁾

1) 下関市立大学看護学部看護学科, 2) 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科,

3) 帝京大学福岡キャンパス福岡医療技術学部看護学科

P3-3-2 高齢者とともに行う認知症に強い地域づくりの実践
～高齢者の考えている自助・互助活動を中心に～

家根 明子¹⁾, 高城 絵美⁴⁾, 小野塚 元子²⁾, 鈴木 隆史⁴⁾,
柳澤 奈美³⁾, 林 祐一⁴⁾, 木谷 尚美³⁾

- 1) 周南公立大学人間健康科学部看護学科, 2) 長野県看護大学看護学部,
3) 富山県立大学看護学部, 4) 敦賀市立看護大学看護学部, 5) 四天王寺大学看護学部

P3-3-3 国民健康保険部門の保健師の配置数と特定健康診査・特定保健指導の実施率との関連

吉本 樹¹⁾, 河野 あゆみ¹⁾

- 1) 大阪公立大学

P3-3-4 * ACP(人生会議)地域推進プロジェクト
もしバナルーム(もしバナでできる五感ゆったりルーム)等の実践

秋山 正子¹⁾, 吉田 智美¹⁾

- 1) 大阪信愛学院大学看護学部

P3-3-5 * 過疎地域における在宅医療の課題と家族の葛藤 本人の意思を尊重した
訪問看護支援のあり方

林 莉穂¹⁾, 井ノ岡 美玖¹⁾

- 1) なな一る訪問看護ステーション三重

P3 群 家族支援

9月13日(土)13:30～14:20

座長: 河野 光伸(金城大学 / 金城大学大学院)

P3-4-1 在宅における家族介護者の腰痛の影響要因

田淵 侑美¹⁾, 前田 恵利²⁾, 齋藤 計子¹⁾, 和田 陽介³⁾

- 1) 訪問看護ステーションえがお, 2) たじま医療生活協同組合,
3) あかつきホームケアクリニック

P3-4-2 主家族介護者が在宅での看取りで訪問看護師から受けた精神的支援

小泉 亜紀子¹⁾, 近藤 麻理²⁾

- 1) 関西医科大学看護学研究科博士後期課程, 2) 関西医科大学看護学研究科

P3-4-3 仕事と介護の両立支援に携わる介護支援専門員の経験
ベテラン介護支援専門員1事例からの検討

田邊 綾子¹⁾, 小林 裕美²⁾

- 1) 宮崎大学医学部看護学科, 2) 株式会社在宅看護実践研究所

P3-4-4 * 腹膜透析患者のエンドオブライフケアを支えた訪問看護

上林山 真美¹⁾, 稲垣 有子¹⁾, 鈴木 美和¹⁾

- 1) なな一る訪問看護ステーション

P3-4-5 * がん在宅ターミナルケアにおける関わりの難しい家族への看護実践
家族の介護経験を共有し支える看護

山本 初美¹⁾, 井上 し乃¹⁾

- 1) きつこう会多根訪問看護ステーション

P4 群 在宅ケア -1

9月13日(土)14:20~15:10
座長: 正野 逸子(令和健康科学大学)

- P4-1-1 訪問入浴介護サービスの社会的ニーズ 介護支援専門員へのアンケート調査より
渡辺 忍¹⁾
1) 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科
- P4-1-2 肺炎スクリーニングシート使用による訪問看護師への効果
—インタビューの分析から—
ニコライ 絵理¹⁾, 佐藤 十美²⁾, 本田 美由紀²⁾, 村本 早都子²⁾, 東本 裕美²⁾
1) セコム新宿訪問看護ステーション,
2) セコム医療システム株式会社 訪問看護ステーション看護部
- P4-1-3 訪問看護事業所におけるオンコール対応を行う看護体制および態勢づくりの場
心理的安全性の高い組織におけるカンファレンスの特徴について
立川 尚子¹⁾
1) 共立女子大学 看護学部
- P4-1-4 在宅療養者の意思決定を尊重した遺族におけるアドバンス・ケア・プランニングの意義
嶋田 理穂¹⁾
1) 訪問看護ステーション Nine
- P4-1-5 中堅訪問看護師の看護実践能力と関連要因の検討
王 譚^{1,2)}, 松田 千登勢²⁾, 小堀 栄子²⁾
1) 株式会社 M.Y.Y., 2) 摂南大学大学院

P4 群 在宅ケア -2

9月13日(土)14:20~15:10
座長: 矢庭 さゆり(新見公立大学)

- P4-2-1 糖尿病を持つ高齢者の血糖コントロールにおいて訪問看護師が感じる困難と対処
王 倩倩¹⁾, 毛利 貴子²⁾, 伊藤 尚子²⁾, 青木 佳穂³⁾
1) 株式会社 M.Y.Y., 2) 京都府立医科大学大学院保健看護学研究科,
3) 元京都府立医科大学大学院保健看護学研究科博士前期課程
- P4-2-2 A 県における訪問看護ステーションの ICT 化の関連要因
門野 杏子¹⁾, 丸山 加寿子¹⁾, 長濱 あかし²⁾, 津塩 昌子³⁾
1) 森ノ宮医療大学, 2) 大阪府訪問看護ステーション協会,
3) ふちゅう訪問看護ステーション
- P4-2-3 在宅ケアにおけるインシデント / アクシデントレポートの分析から見た対応策
上野 まり¹⁾, 内田 恵美子¹⁾, 小此木 百合香²⁾, 落合 尚子¹⁾, 亀井 智子¹⁾
1) 日本在宅ケア教育研究センター, 2) 日本医療科学大学
- P4-2-4 訪問看護導入期における熟練訪問看護管理者の臨床判断の特徴と構造
10 事例の総合分析から
小林 裕美^{1,2)}, 乗越 千枝¹⁾
1) 四天王寺大学 看護学研究科, 2) 株式会社 在宅看護実践研究所

- P4-2-5 がん在宅終末期ケアを行ったビジネスケアラーの介護と仕事の両立に向けた実態
伊藤 真夕¹⁾, 前田 修子¹⁾, 蘭 直美¹⁾, 福田 守良¹⁾
1) 金沢医科大学看護学部

P4 群 訪問看護管理 -1

9月13日(土)14:20~15:10
座長: 浅海 くるみ(東京工科大学)

- P4-3-1 訪問看護の利用が認知症高齢者の在宅医療の継続に与える影響
石井 亜由美¹⁾, 渡邊 亮¹⁾
1) 神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスケア・リハビリテーション研究科
- P4-3-2 市町村における人口規模別にみた高齢者単身世帯割合が自宅死割合に及ぼす影響
西谷 弥保¹⁾, 河野 あゆみ¹⁾
1) 大阪公立大学
- P4-3-3 訪問看護師が体験した利用者家族からの身体的・精神的暴力とセクシャルハラスメント
石原 一美¹⁾, 平田 弘美¹⁾
1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
- P4-3-4 * A 在宅ケア事業所における認知症ケア研修の取り組みとその効果
川本 雪江¹⁾
1) 医療社団法人 葵会 AOI ケアリングステーション
- P4-3-5 医療的ケアを必要とする児に対する訪問看護師が抱く困難感
教育的介入に向けての調査
宮原 聡子¹⁾, 藤原 奈佳子²⁾, 石井 英子²⁾
1) 奈良学園大学 保健医療学部 看護学科, 2) 岐阜保健大学大学院 看護学研究科

P4 群 訪問看護管理 -2

9月13日(土)14:20~15:10
座長: 高砂 裕子(一般社団法人南区医師会 在宅事業部)

- P4-4-1 訪問看護事業所の管理者が新任者との同行訪問を通して抱く思いと教育支援への意識
榎本 真由美¹⁾, 早川 りか¹⁾, 深山 華織¹⁾
1) 武庫川女子大学看護学部
- P4-4-2 既存データを用いた 2017~2019 年の 3 年間の訪問看護体制の変化
池田 直隆¹⁾
1) 大阪公立大学
- P4-4-3 在日外国人への訪問ケアの円滑化に資するインテイクシートの検討
~ 熟練支援者に対するインタビュー調査より ~
河野 真^{1,8)}, 宮本 圭²⁾, 高橋 恵里^{3,8)}, 石本 馨^{4,8)}, 勝田 茜^{5,8)},
古川 雅一^{6,8)}, 山口 佳小里^{7,8)}
1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部, 2) 順天堂大学医療看護学部,
3) 福島県立医科大学保健科学部, 4) 一般社団法人 Bridges in Public Health,
5) 佛教大学保健医療技術学部, 6) 仙台医健・スポーツ専門学校,
7) 国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部, 8) 国際リハビリテーション研究会

- P4-4-4 在日外国人への訪問ケアの円滑化に資するインタビューシートの検討
～保健医療職のフォーカス・グループ・インタビュー調査より～
宮本 圭¹⁾, 高橋 恵里^{2,8)}, 河野 真^{3,8)}, 石本 馨^{4,8)}, 勝田 茜^{5,8)},
古川 雅一^{6,8)}, 山口 佳小里^{7,8)}
1) 順天堂大学医療看護学部, 2) 福島県立医科大学保健科学部,
3) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 4) 一般社団法人 Bridges in Public Health,
5) 佛教大学保健医療技術学部, 6) 仙台医健・スポーツ専門学校,
7) 国立保健医療科学院医療・福祉サービス研究部, 8) 国際リハビリテーション研究会
- P4-4-5 在宅看取りにおける家族へのグリーフケアを行う訪問看護師の経験の意味
村田 尚子¹⁾, 小林 裕美²⁾
1) 同志社女子大学看護学部, 2) 株式会社 在宅看護実践研究所

P5 群 経営 -1

9月13日(土)15:10～16:00
座長: 小西 円(大阪公立大学大学院)

- P5-1-1 新人訪問看護師の労働特性・教育内容の開設主体別の比較
松原 みゆき¹⁾, 河野 あゆみ²⁾
1) 日本赤十字広島看護大学, 2) 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野
- P5-1-2 A 県の訪問看護ステーションの状況 ～B 市と B 市以外の地域との比較より～
菅原 千恵子¹⁾
1) 東北福祉大学健康科学部保健看護学科
- P5-1-3 日本在留外国人の在宅ケアに関する文献検討: 関係支援者の困難と対処策の抽出
YAN QIJUN¹⁾, 石丸 絢子²⁾, 牛久保 美津子³⁾
1) 群馬大学大学院保健学研究科博士後期課程, 2) 群馬大学医学部保健学科,
3) 群馬大学大学院保健学研究科
- P5-1-4 中小企業の事業承継に関する文献レビュー
訪問看護ステーションの事業承継に関する研究への示唆
櫻井 知賀¹⁾
1) 摂南大学
- P5-1-5 訪問看護師の多職種連携における情報通信技術(ICT)使用に関連する要因
技術受容モデル(TAM)を用いた ICT 使用の有無による比較
林 夏紀¹⁾, 石川 武雅²⁾, 稲葉 友希¹⁾, 鈴木 絵美¹⁾, 小西 かおる¹⁾
1) 大阪大学大学院医学系研究科, 2) なな一 訪問看護デベロップメントセンター

P5 群 経営 -2

9月13日(土)15:10～16:00
座長: 大野 かおり(兵庫県立大学)

- P5-2-1 訪問看護ステーションの職員における管理職への興味を高めるための要素の検討
齋藤 緑^{1,2)}, 伊藤 絵梨子³⁾
1) スギ訪問看護ステーション,
2) 横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野博士後期課程,
3) 横浜市立大学大学院医学研究科地域看護学分野

P5-2-2 在宅医が語った看取りにおける訪問看護師の役割

栗野 登詩男¹⁾, 鈴木 智子²⁾

1) 四国大学大学院 看護学研究科, 2) 四国大学大学院

P5-2-3 機能強化型在宅療養支援診療所の看護師の役割とその課題

岡崎 あつき¹⁾, 種市 ひろみ²⁾, 菱田 一恵²⁾

1) 順天堂大学大学院医療看護学研究科博士前期課程,

2) 順天堂大学大学院医療看護学研究科

P5-2-4 訪問看護師が働きやすい職場にするための管理者の関わり

清水 亜優奈¹⁾, 山本 大祐¹⁾

1) 関西医科大学看護学部

P5-2-5 訪問看護師による独居で糖尿病の認知症高齢者に対する食支援のアセスメント

片岡 友子¹⁾, 三輪 恭子¹⁾, 岡野 明美¹⁾

1) 大阪公立大学大学院看護学研究科

P5 群 経営 -3

9月13日(土)15:10~16:00

座長: 川上 理子(高知県立大学)

P5-3-1 障がいをもつ子の親が親なきあと相談室に通う中で広がる世界

小西 かおる¹⁾, 鈴木 絵美¹⁾, 稲葉 友希¹⁾, 林 夏紀¹⁾

1) 大阪大学大学院医学系研究科

P5-3-2 大阪府における訪問看護ステーションの特徴 運営状況リーダーチャートとの関連

坪川 りさ¹⁾, 竹中 朱理¹⁾, 池田 直隆¹⁾

1) 大阪公立大学

P5-3-3 大阪府における訪問看護ステーションの特徴 在宅死との関連

竹中 朱理¹⁾, 坪川 りさ¹⁾, 池田 直隆¹⁾

1) 大阪公立大学

P5-3-4 利用者からの暴力・ハラスメントに対する新任訪問看護師の認識と教育・支援ニーズ

高橋 和子¹⁾, 大熊 恵子²⁾

1) 宮城大学看護学群, 2) 東京医療保健大学千葉看護学部

P5-3-5 小児終末期在宅ケアにおける看護師の家族支援に関する文献レビュー

池田 弥月¹⁾, 河藤 蒼²⁾, 小武家 優希美²⁾, 對馬 桃花³⁾, 松原 みゆき⁴⁾

1) 西日本教育医療専門学校, 2) 広島赤十字・原爆病院, 3) JA 広島総合病院,

4) 日本赤十字広島看護大学

P5 群 訪問看護管理 -3

9月13日(土)15:10~16:00

座長: 菊地 ひろみ(札幌市立大学)

P5-4-1 終末期がん療養者と家族が安心して自宅で最期を迎えるための在宅看護質向上の取り組み ペイシェントジャーニーマッピングを用いた支援の検討

豊島 めぐみ¹⁾, 豊島 美樹²⁾

1) ハレレア訪問看護ステーション, 2) 兵庫県立大学

- P5-4-2 関東内陸一県の訪問看護ステーションにおける減災意識と在宅療養者への減災対策状況
柏瀬 淳¹⁾
1)群馬大学大学院保健学研究科
- P5-4-3 首都圏における機能強化型訪問看護ステーションの地理的アクセシビリティの地域差補正 2SFCA 法を用いた地理情報システム研究
江頭 勇紀¹⁾, 渡邊 亮¹⁾
1)神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科
- P5-4-4 入社時研修に看護リフレクション研修を導入して
リフレクション事例から入社初期の必要な支援を考える
水取 恵子^{1,2)}, 近藤 裕紀子¹⁾, 山田 直美³⁾
1)セコム医療システム株式会社訪問看護ステーション看護部スキル支援,
2)セコム豊中訪問看護ステーション, 3)セコム船橋訪問看護ステーション
- P5-4-5 熟練訪問看護師の臨床判断に影響を及ぼす『対象の把握』
がん終末期在宅療養者の看取りの意思決定支援の語りからの分析
栗田 麻美^{1,2)}, 早川 りか²⁾
1)奈良県立医科大学, 2)武庫川女子大学大学院看護学研究科

P6 群 訪問看護管理 -4

9月14日(日)9:30~10:30
座長: 古田 加代子(愛知県立大学)

- P6-1-1 大都市の訪問看護におけるインシデント及びアクシデントレポートの分析
発生原因分析と危険性/有害性からみた発生頻度と影響度の解明
内田 恵美子¹⁾, 上野 まり¹⁾, 落合 尚子¹⁾, 前島 真優子²⁾, 亀井 智子³⁾
1)日本在宅ケア教育研究センター, 2)日本在宅ケア教育研究所, 3)聖路加国際大学
- P6-1-2 管理者が新任訪問看護師に獲得を期待する入職後1年間の訪問看護実践力
丸尾 智実¹⁾, 片倉 直子¹⁾, 水川 真理子¹⁾, 中川 恵津子¹⁾,
船越 明子¹⁾, 片山 修¹⁾, 大瓦 直子¹⁾
1)神戸市看護大学
- P6-1-3 * 排尿自立支援に必要な複合的ケアの実例 自立支援医療で介入中のA氏
渡辺 匡人¹⁾, 竹原 涼¹⁾
1)ちむ訪問看護ステーション
- P6-1-4 * 訪問看護師が直面する夏場の労働環境と熱中症対策を考える
STOP! 熱中症 クールワークキャンペーンからの学び
高山 雅子¹⁾
1)医療法人和幸会 阪奈中央訪問看護ステーション
- P6-1-5 * 在宅療養支援診療所における家族ケアの取り組み
遺族が抱える悲しみや喪失感に寄り添う継続的なグリーフケア
安達 奈津子¹⁾, 岩谷 健志¹⁾, 尾崎 由紀江¹⁾, 黒木 笑美¹⁾, 田村 美沙¹⁾,
米田 幸奈¹⁾, 舟谷 久美¹⁾
1)医療法人 en. 縁在宅クリニック

P6-1-6 * 遷延性意識障害患者の慢性期の深い褥瘡に対する訪問看護の多面的取り組み
ーポケット切開を要した感染症合併例における実践報告ー

水野 竜斗¹⁾, 水野 由佳¹⁾, 野口 沙也加¹⁾, 江角 冴¹⁾, 山際 健太郎²⁾, 船尾 浩貴³⁾
1) くのねる訪問看護ステーション, 2) 津在宅ケア診療所,
3) 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻

P6 群 在宅ケア -3

9月14日(日)9:30~10:30
座長: 松原 みゆき(日本赤十字広島看護大学)

P6-2-1 * 認知症患者の希望を支えるケア 予期悲嘆からの関りで
死別後早期に日常生活を再構築できた関り

木田 久美子¹⁾, 猪之鼻 理絵¹⁾, 今野 博美¹⁾, 澤崎 那都子¹⁾
1) ナースステーションかけはし 訪問看護ステーション

P6-2-2 * 身寄りのない独居認知症高齢者のその人らしさを支える訪問看護師の役割
暮らし方から見出す看護実践、多職種連携の必要性

武中 友美¹⁾, 山本 初美¹⁾
1) きつこう会多根訪問看護ステーション

P6-2-3 * 死を待つだけの存在から希望を持って生き抜く存在へ ～希望と人が支える最期の
時間～在宅療養における終末期患者中心の意思決定支援

蟹江 志保¹⁾
1) みんなのかかりつけ訪問看護ステーション有松

P6-2-4 * 最善のケアを考える～エビデンスと利用者の希望・条件との間で～
難治性創傷の洗浄方法を見直し創傷が治癒した一例から考える

今尾 直子¹⁾, 野村 育美¹⁾, 浅野 真里¹⁾, 黒木 由加¹⁾, 丹下 泰宏¹⁾
1) まつなみ訪問看護ステーション

P6-2-5 * 訪問看護で妻を亡くした夫の感情の揺れとケアの課題

櫻木 政子^{1,2)}, 作田 裕美²⁾
1) テンダーケア訪問看護ステーション, 2) 大阪公立大学看護学研究科がん包括ケア科学

P6-2-6 * 訪問看護における高齢女性に対するフットケアの効果

佐川 美枝子¹⁾, 鈴木 沙織²⁾, 須藤 真吏²⁾, 佐藤 幸香²⁾
1) 駒沢女子大学看護学部, 2) ホアロハナースステーション

P6 群 テレナーシング・遠隔医療

9月14日(日)9:30~10:30
座長: 加瀬 裕子(早稲田大学)

P6-3-1 * 離れて生活する高齢家族を遠隔で見守るためのデバイスの開発とその有用性の検証

六穴 健一¹⁾, 大力 亮¹⁾, 渡辺 美砂子¹⁾, 佐々木 光太郎¹⁾
1) エーザイ株式会社

P6-3-2 * DX の取組による生産性向上の具体的成果について

坪田 康佑¹⁾
1) 国際医療福祉大学

P6-3-3 * 訪問看護を利用する慢性疾患高齢者へのセルフモニタリング教育の実践と継続の実態

丸山 加寿子¹⁾, 河野 あゆみ²⁾

1) 森ノ宮医療大学, 2) 大阪公立大学看護学研究科 地域包括ケア科学分野

P6-3-4 * 情報通信機器を利用した死亡診断等ガイドラインのシミュレーションを行った報告
遠隔看取りは可能か？

牧野 勇気^{1,2)}

1) 一般社団法人 ALiS, 1) 安曇野赤十字病院

P6-3-5 慢性閉塞性肺疾患在宅療養者へのモニタリングに基づく mHealth は急性増悪への
予防効果 システマティックレビューとメタアナリシスによる検討

威 琳¹⁾, 邵 昕霞¹⁾, 亀井 智子²⁾

1) 聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程,

2) 聖路加国際大学看護学部学部長・大学院看護学研究科教授

P6-3-6 * 訪問看護連携型 BCP 構築に向けた活動報告
一事例検討から検証した代行訪問のスキーム策定についてー

稲葉 典子¹⁾, 呉山 ナリ²⁾, 吉田 聖名子³⁾, 荒木 史⁴⁾, 奥田 晶⁵⁾,
岸田 三知子⁶⁾, 清水 真⁷⁾, 福山 敦子⁸⁾, 盛根 太⁶⁾, 山岸 暁美^{9,10)}

1) 西宮協立訪問看護センター, 2) ナウ訪問看護ステーション, 3) 西宮市訪問看護センター,

4) なごみ訪問看護ステーション仁川, 5) ルート訪問看護ステーション,

6) 訪問看護ステーションありまこうげん, 7) 訪問看護ステーションゆめか,

8) 訪問看護ステーション聲, 9) 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室,

10) 一社) コミュニティヘルス研究機構

P6 群 訪問看護管理 -5

9月14日(日)9:30~10:30
座長: 石橋 みゆき(千葉大学)

P6-4-1 * 独居のがん末期利用者からの看護業務外の依頼が増加し対応に苦慮した一例

土井 恵¹⁾, 潮崎 理恵¹⁾, 奥田 友紀¹⁾, 門野 杏子²⁾

1) ぐりへん 2 訪問看護ステーション, 2) 大阪公立大学看護学部

P6-4-2 * 終末期における“語り”と“表現”が地域の第三者に開かれること
展示会の実現にむけて主体性を取り戻したプロセスに注目して

江副 亜紀^{1,2,3)}, 杉江 知恵子¹⁾, 吉村 友美¹⁾, 高岩 みのり²⁾,
松尾 真由子²⁾, 大熊 亜依³⁾

1) 山王訪問看護ステーション, 2) 一般社団法人 brk collective,

3) 認定 NPO 法人 Homedoor

P6-4-3 * 訪問看護ステーションにおける看護師によるリハビリの実践

大林 将人¹⁾, 中瀬 美穂¹⁾, 丸山 加寿子²⁾, 梅谷 貴彦¹⁾

1) 株式会社 CareCreation ケアクリ看護センター,

2) 大阪公立大学 在宅看護学 後期博士課程

P6-4-4 * 対話による信頼関係の構築を重視した精神科訪問看護の一事例
在宅ケアの「まれびと」性についての考察

東 美苗子^{1,2)}

1) 大阪大学大学院人間科学研究科臨床心理学研究分野博士後期課程,

2) 愛ここ訪問看護ステーション京都

P6-4-5 演題取下げ

P7 群 訪問看護管理 -6

9月14日(日)10:30~11:30
座長：岡田 麻里(香川県立保健医療大学)

P7-1-1 * 統合失調症を有する終末期がん患者の看護についての一考察

澤田 里子¹⁾

1)かがやき訪問看護ステーション加美駅前

P7-1-2 * 大阪府訪問看護ステーションの実態報告 ～実態調査結果から見えること～

長濱 あかし¹⁾, 松本 康代¹⁾, 津塩 昌子¹⁾, 門野 杏子²⁾

1)一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会, 2)大阪公立大学看護学部

P7-1-3 * ACPを踏まえた独居高齢者と家族の意思決定支援 ― OOWL で思いを見える化―

内橋 恵¹⁾

1)脳卒中と栄養ケア 在宅支援 Nurture

P7-1-4 * 地域役員による医療機関とのリレーションシップを開催して やってみよう地域役員

松本 康代^{1,2)}, 白坂 昌子^{1,3)}, 水取 恵子^{1,4)}

1)大阪府訪問看護ステーション協会豊能ブロック役員, 2)訪問看護ステーションCIL 豊中,
3)訪問看護ステーションアールドビーブル, 4)セコム豊中訪問看護ステーション

P7-1-5 * A大学病院における入退院支援強化に向けた取り組み 入退院支援ワーキングチームの活動を通して

坂口 晴美^{1,2)}

1)近畿大学病院, 2)大阪公立大学大学院看護学研究科

P7-1-6 * 在宅静注強心薬を使用した末期重症心不全患者に対する循環管理 特定行為研修修了者による在宅静注強心薬の流量調整

辻本 雄大¹⁾, 亀谷 亮祐¹⁾, 松村 裕生¹⁾, 佐々木 有子¹⁾, 平井 亮¹⁾

1)クリケア訪問看護ステーション

P7 群 在宅ケア -4

9月14日(日)10:30~11:30
座長：木全 真理(川崎市立看護大学)

P7-2-1 * 過去・未来への囚われから「今、ここ」へ

日記療法と看護師の関わりが、自己肯定感の獲得を支援した過程

吉田 あかり¹⁾

1)みんなのかかりつけ訪問看護ステーション

P7-2-2 * 新卒から在宅医療へ進むために現場が出来ること

現場の課題を明確にして受け入れ体制を構築する

網島 翔太¹⁾, 渡邊 佳子²⁾

1)株式会社アグリケア, 2)医療法人 AGRIE

P7-2-3 * 看護学生による日雇い労働者・生活困窮者への健康支援活動の実践報告

溝口 広紀¹⁾

1)名桜大学

P7-2-4 * 地域の多様な看護職が共に学んだ意思決定支援

菅谷 綾子¹⁾, 島村 敦子¹⁾, 吉田 愛子²⁾, 雑賀 真紀³⁾, 庄司 美佐子⁴⁾,
奥村 恵美子⁵⁾, 山崎 潤子⁶⁾, 南山 千佳子⁷⁾, 臼井 智子⁸⁾, 吉田 千文⁹⁾
1) 東邦大学健康科学部, 2) Contrea 株式会社, 3) さいが居宅介護支援事業所,
4) みやのぎ訪問看護ステーション, 5) 医療法人社団有相会 最成病院,
6) 緑が丘訪問看護ステーション, 7) 井上記念訪問看護ステーション,
8) 千葉県立保健医療大学看護学科, 9) 前聖路加国際大学

P7-2-5 認知機能障害と下部尿路症状を有する高齢者に対する非薬物的介入を特定する
スコーピングレビュー

石川 和枝¹⁾, 河田 萌生¹⁾, 亀井 智子¹⁾
1) 聖路加国際大学大学院

P7-2-6 * 高用量ステロイド内服中の MALT リンパ腫患者に対して運動療法実施が
奏効した一症例

堀池 聖子¹⁾, 村本 由紀恵¹⁾, 浜谷 忍¹⁾
1) スマイル訪問看護ステーション

P7 群 多職種連携 -2

9月14日(日)10:30~11:30
座長: 高橋 奈美(札幌市立大学)

P7-3-1 小規模事業所が点在する地域の多職種連携【第1報】
～「連携」への認識調査より～

本多 智尋¹⁾, 御家瀬 真由¹⁾, 本橋 風夏¹⁾, 伊勢 健佑²⁾, 千葉 瑛斗³⁾,
佐賀 友美²⁾
1) 定山溪病院訪問看護ステーションエール, 2) 溪仁会真駒内在宅クリニック,
3) 定山溪病院

P7-3-2 小規模事業所が点在する地域の多職種連携【第2報】
～「連携」の場面と内容のアンケート調査～

伊勢 健佑¹⁾, 御家瀬 真由²⁾, 本多 智尋²⁾, 千葉 瑛斗³⁾, 佐賀 友美¹⁾,
本橋 風夏²⁾
1) 溪仁会真駒内在宅クリニック, 2) 定山溪病院訪問看護ステーションエール,
3) 定山溪病院

P7-3-3 委託型地域包括支援センターにおける健診データ活用の現状と阻害要因

小野寺 伯子¹⁾, 鈴木 るり子²⁾, 吹田 夕起子²⁾
1) 一関地区広域行政組合 一関西部地域包括支援センター, 2) 岩手保健医療大学

P7-3-4 「人生の最終段階をその人らしく生きる」を支える退院支援看護師の実践
～意思決定支援のプロセス～

中村 美樹¹⁾, 児玉 亜矢¹⁾, 大山 まどか¹⁾
1) 独立行政法人地域医療機能推進機構 JCHO 神戸中央病院

P7-3-5 訪問看護ステーションのデスクカンファレンス記録からみた看取りを見据えた
支援の在り方

河合 さくら¹⁾, 武 ユカリ²⁾
1) 大阪鉄道病院, 2) 森ノ宮医療大学

P7-3-6 要介護高齢者の親と同居する社会参加が困難な息子への支援策の検討
社会参加が困難な息子に関わった支援者へのインタビュー調査

飛田 幸宏¹⁾、近藤 圭子²⁾、前沢 政次³⁾

- 1) 札幌市東区保健福祉部保健福祉課、2) 札幌市立大学看護学部、
3) 浦谷町町民医療福祉センター

P7 群 優秀演題

9月14日(日)10:30~11:30
座長：永田 智子(慶應義塾大学)

優秀

PA-1 ＊わがまちで暮らす-出かける・集う・相談する・保健師による「まちの保健室」-

堀田 邦子¹⁾、曾我 智子²⁾

- 1) 武庫川女子大学、2) 泉大津市社会福祉協議会

優秀

PA-2 地域住民における睡眠効率と活動能力との関連

益満 智美¹⁾、佐々木 八千代¹⁾、和田 麗¹⁾、宮田 昌明^{1,2)}、塩津 めぐみ³⁾、
上田 敦子³⁾、窪田 琢朗²⁾、大石 充²⁾

- 1) 鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻、
2) 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科心臓血管・高血圧内科学、
3) 鹿児島大学大学院保健学研究科

優秀

PA-3 地域包括支援センターの介護予防対象高齢者における不眠症状とフレイルの関連

佐藤 由恵¹⁾、河野 あゆみ¹⁾

- 1) 大阪公立大学大学院看護学研究科

最優秀

PA-4 在宅医療開始時の訪問看護サービスの利用と要介護高齢者の在宅療養日数
レセプトデータ解析

坂野 朋未¹⁾、藤田 淳子²⁾、佐川 美枝子³⁾、安齋 達彦⁴⁾、菅野 雄介¹⁾、
廣岡 佳代¹⁾、新田 汐里⁵⁾、秋山 智弥⁶⁾、福井 小紀子¹⁾

- 1) 東京科学大学大学院保健衛生学研究科、2) 国立看護大学校看護学部、
3) 東京科学大学大学院保健衛生学研究科博士課程、4) 東京科学大学 M&D データ科学センター、
5) 宮崎大学医学部看護学科、6) 名古屋大学医学部附属病院卒後臨床研修・キャリア形成支援センター

優秀

PA-5 熟練訪問看護師による自宅から病院への移行期ケア

鏡畑 麻子¹⁾、岡野 明美¹⁾、三輪 恭子¹⁾

- 1) 大阪公立大学大学院看護学研究科

P8 群 多職種連携 -3

9月14日(日)12:50~13:40
座長：蒔田 寛子(豊橋創造大学)

P8-1-1 ＊A 病院における外国人患者対応力向上に向けての取り組み

中西 潤¹⁾

- 1) 大阪公立大学医学部附属病院

P8-1-2 ＊多職種連携により生活を整えアトピー性皮膚炎が安定した中学生の事例

井本 雅子¹⁾、山路 朋子²⁾、牛村 春奈²⁾、西 かおり¹⁾、桜井 志保美²⁾

- 1) 一般社団法人石川県医療在宅ケア事業団かほく高松訪問看護ステーション、
2) 石川県立看護大学

P8-1-3 * グループホームにおけるやりがい ～葛藤の先に見えたもの～

浅野 里佳¹⁾, 三宅 喜代美²⁾, 河合 千恵子¹⁾

- 1) 医療法人偕行会 認知症高齢者グループホームじょうさい,
- 2) 医療法人偕行会 在宅医療事業部

P8-1-4 * 介護未経験家族へのアプローチ ～両親の看取りを経験した家族との関わりを考える～

林 照子¹⁾, 増田 友美¹⁾, 中上 恵子¹⁾, 土山 杏奈¹⁾, 東淵 香織²⁾,
溝口 弘美³⁾

- 1) ドリーム訪問看護ステーション,
- 2) ドリーム介護ステーション,
- 3) ドリームデイサービスセンター

P8-1-5 * 他者に弱った姿を見せず自立して生ききたいという希望を支えた終末期がん患者の一例 ―意思決定支援に基づく症状緩和と多職種連携の視点から―

青木 真由美¹⁾

- 1) たまつ訪問看護ステーション

P8 群 多職種連携 -4

9月14日(日)12:50~13:40

座長: 丸山 加寿子(森ノ宮医療大学)

P8-2-1 * 医療依存度の高い療養者の在宅看取りの希望実現を目指した家族支援のプロセス
家族相互の願いと葛藤を踏まえたチーム連携に焦点を当てて

榎本 美由貴¹⁾, 岡部 明子¹⁾

- 1) わそら街なかナースステーション

P8-2-2 * 訪問診療クリニックから発信する食支援チームの取り組み
嚥活の普及に向けたケアマネージャーへの意識調査と今後の展望

船本 峰宏¹⁾, 吉川 治輝¹⁾, 河本 達也¹⁾, 謝 新¹⁾

- 1) 医療法人緑光会 ひかりクリニック

P8-2-3 * リフレクションを深める多職種事例検討「わかる事例検討会」のフレームワークの
実践 認知症高齢者と家族への支援をする地域包括支援センターの事例

太田 ゆきの^{1,2)}, 内藤 恵介^{1,2)}, 大沼 由香^{1,3)}

- 1) わかる事例検討会, 2) 岩手保健医療大学看護学部,
- 3) 公立大学法人宮城大学看護学群

P8-2-4 * 遺伝性神経難病のきょうだいと家族への長期療養支援から考える在宅ケアの課題

西井 知代¹⁾

- 1) 訪問看護ステーションえいむ

P8-2-5 * 丹波地域医療圏内での「多職種で支える意思決定事例検討会」実践報告

榎本 鮎子¹⁾, 森 一恵²⁾, 府川 晃子²⁾

- 1) ささやま居宅サービスセンター訪問看護ステーションデカンショ,
- 2) 兵庫医科大学看護学部

P8 群 多職種連携 -5/ 介護予防

9月14日(日)12:50~13:40

座長: 片山 陽子(香川県立保健医療大学)

P8-3-1 * 自宅退院をしたい患者様の思いを届け! ～退院調整看護師は在宅医療の伝道師～

古城 みゆき¹⁾, 池谷 和子¹⁾, 金藤 由香利¹⁾, 川上 由紀子¹⁾, 小畑 圭司¹⁾

- 1) 大阪公立大学医学部附属病院

P8-3-2 ＊ ～働きたい～ 青年期の脳性麻痺利用者の思いが周りを動かした事例

塩崎 和広¹⁾, 戸井田 麻理乃¹⁾, 立花 貴弘¹⁾, 佐々木 元¹⁾
1) 河北訪問看護・リハビリステーション阿佐谷

P8-3-3 離島在住高齢者の食品摂取の多様性の現状と関連要因

佐々木 八千代¹⁾, 益満 智美¹⁾, 秋山 庸子²⁾, 白井 みどり³⁾
1) 鹿児島大学, 2) 大阪大学, 3) 大阪公立大学

P8-3-4 高齢者の舌機能低下が日常生活動作に与える影響

牛村 春奈¹⁾, 山路 朋子¹⁾, 日高 未希恵²⁾, 宮田 英利³⁾, 桜井 志保美¹⁾,
岩佐 和夫¹⁾
1) 石川県立看護大学, 2) 東京医科大学 医学部看護学科, 3) 宮田歯科

P8-3-5 訪問看護利用者における体重減少の実態

矢野 朋子¹⁾, 富岡 洵¹⁾, 庄野 仁登¹⁾, 前原 葉子²⁾, 堤 信博³⁾,
中村 千賀⁴⁾, 中井 香純⁵⁾, 松井 由加里⁶⁾, 宮川 光代⁷⁾, 北 直美⁸⁾
1) 大手前大学国際看護学部, 2) トータルケア八尾訪問看護ステーション,
3) 看護小規模多機能型居宅介護ピースマインド, 4) やさしいそら訪問看護ステーション,
5) さくら訪問看護ステーション, 6) シャローム訪問看護ステーション,
7) 耳原訪問看護ステーション, 8) おかもと訪問看護ステーション生野

P8 群 高齢者福祉 -1

9月14日(日)12:50~13:40
座長: 榎本 雪絵(杏林大学)

P8-4-1 介護老人保健施設に入所する百寿者の夜間の睡眠状況の実態や特徴

小西 円¹⁾, 野田 さおり¹⁾, 服部 明香²⁾, 下地 かおり²⁾,
佐々木 八千代³⁾, 白井 みどり¹⁾
1) 大阪公立大学大学院看護学研究科,
2) 医療法人偕行会老人保健施設ケア・サポート新茶屋, 3) 鹿児島大学医学部保健学科

P8-4-2 ICD-10 からのマッピングにより経時的に把握した EQ-5D スコアと死亡リスク

三浦 剛¹⁾, 河野 あゆみ¹⁾
1) 大阪公立大学大学院看護学研究科

P8-4-3 都市部と中山間地域の高齢者の社会的つながりの特徴

井上 ゆりこ¹⁾, 中谷 久恵¹⁾, 小野 一恵²⁾, 濱田 泰伸¹⁾
1) 広島大学大学院医系科学研究科, 2) 安田女子大学看護学部看護学科

P8-4-4 補聴器専門店を利用する難聴高齢者の実態 補聴器装着時間に基づいた検討

達川 まどか¹⁾, 河野 あゆみ²⁾
1) 大阪公立大学大学院看護学研究科 博士後期課程, 2) 大阪公立大学看護学部

P8-4-5 通所介護利用者における体重減少の要因

佐野 ちひろ¹⁾, 富岡 洵¹⁾, 山本 真理子¹⁾, 白井 文恵¹⁾, 石川 武雅²⁾,
関口 亮子²⁾, 深田 悠花²⁾, 水島 美保³⁾, 勝真 久美子²⁾, 矢野 朋子¹⁾
1) 大手前大学国際看護学部, 2) なな一訪問看護デベロップメントセンター,
3) 在宅栄養もくもく大阪

P9 群 高齢者福祉 -2

9月14日(日)13:40~14:30
座長:牛久保 美津子(群馬大学大学院)

- P9-1-1 森林環境を活用したシニア世代対象の健康寿命延伸プログラムの有効性の検証
スーディ神崎 和代¹⁾, 竹生 礼子²⁾, 鹿内 あずさ³⁾, 郡 美代子⁴⁾, 齋藤 千夏⁴⁾,
万名 里香⁴⁾, 中山 梨香子⁴⁾, 川添 恵理子²⁾, 河田 真理子⁴⁾
1)札幌市立大学, 2)北海道医療大学, 3)北海道文教大学, 4)3HR
- P9-1-2 地域高齢者における下肢浮腫とプレフレイル・フレイルとの関連
蔭西 訓子¹⁾, 河野 あゆみ¹⁾
1)大阪公立大学大学院看護学研究科
- P9-1-3 高齢者の外出促進を目指した実証実験「おでかけ MaaS しあわせタクシー」の評価
参加者を対象としたインタビュー調査による評価
鬼塚 美玲¹⁾, 菊地 ひろみ¹⁾, 小林 重人²⁾, 齊藤 雅也²⁾, 椎野 亜紀夫²⁾,
南部 美砂子³⁾, 丸山 洋平²⁾, 吉田 彩乃²⁾, 中島 秀之⁴⁾
1)札幌市立大学看護学部, 2)札幌市立大学デザイン学部,
3)ほこだて未来大学システム情報科学部, 4)札幌市立大学
- P9-1-4 * 全国訪問ボランティアナースの会「キャンパス出雲」の活動と評価
狩野 京子^{1,2)}, 曾田 美佐子¹⁾, 野尻 聡子¹⁾, 板井 隆三²⁾,
安部 俊子¹⁾, 吉廻 裕子¹⁾, 森脇 真由美¹⁾
1)全国訪問ボランティアナースの会「キャンパス出雲」,
2)出雲市健康福祉部医療介護連携課
- P9-1-5 * コロナ禍から始まった脳トレプリント配布と地域のつながり
植野 陽介¹⁾
1)社会福祉法人松原市社会福祉協議会

P9 群 入退院支援 -1

9月14日(日)13:40~14:30
座長:佐川 美枝子(駒沢女子大学)

- P9-2-1 特定機能病院 A 病院における外来患者に対する在宅療養支援の実態
川本 裕美¹⁾, 山口 真美¹⁾, 川崎 涼子²⁾
1)長崎大学病院 看護部 地域医療連携センター,
2)長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
- P9-2-2 食事改善の意思をもつ外来 2 型糖尿病患者の食の現状
糖尿病患者と食事に対する思いを明確にする
奥田 昌子¹⁾, 生田 花澄²⁾, 川北 ひさ¹⁾, 廣西 和代¹⁾, 恋中 理恵¹⁾,
神保 昌世¹⁾, 山本 陵平^{3,4)}, 大槻 奈緒子⁵⁾
1)橋本市市民病院看護部, 2)虎の門病院看護部,
3)大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター,
4)大阪大学大学院医学系研究科健康増進医学講座行動健康医学,
5)大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野

P9-2-3 外来 2 型糖尿病患者における受診時以外の血圧測定と HbA1c の関連

生田 花澄¹⁾, 奥田 昌子²⁾, 恋中 理恵²⁾, 神保 昌世²⁾, 山本 陵平^{3,4)},
大槻 奈緒子⁵⁾

- 1) 虎ノ門病院看護部, 2) 橋本市民病院看護部,
- 3) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター,
- 4) 大阪大学大学院医学系研究科健康増進医学講座行動健康医学,
- 5) 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野

P9-2-4 外来看護師の在宅療養支援を困難にしている要因に関する文献検討

伊藤 久恵¹⁾, 山口 多恵²⁾

- 1) 長崎県立大学地域創生研究科人間健康科学専攻看護学実践コース,
- 2) 長崎県立大学看護栄養学部看護学科

P9-2-5 自宅退院を希望する独居高齢慢性心不全患者と意向に相違がある家族に対する実践 ～退院調整看護師の立場から一考察～

大山 まどか¹⁾

- 1) 地域医療機能推進機構 JCHO 神戸中央病院

P9 群 入退院支援 -2

9月14日(日)13:40～14:30

座長: 戸石 未央(日赤和歌山医療センター患者支援センター)

P9-3-1 * 退院後訪問指導により在宅での療養生活が継続できるように導いた症例を振り返る

堀川 美貴子¹⁾, 伊藤 聡美¹⁾, 津留 美貴¹⁾

- 1) 医療法人偕行会 名古屋共立病院

P9-3-2 * 入退院支援看護師が行う退院支援の実践と役割

濱崎 みか¹⁾

- 1) 医療法人聖真会渭南病院

P9-3-3 * 認知症ケアチームの介入による認知症高齢者の退院支援の一例

藤井 政則¹⁾, 吉田 三紀¹⁾, 瓦 侑馬¹⁾, 得津 奈美¹⁾, 常深 志子¹⁾,
中野 美佐¹⁾

- 1) 地方独立行政法人 市立吹田市民病院

P9-3-4 * 病棟看護師の訪問看護同行研修の実践報告

東本 桂¹⁾, 戸川 千佳¹⁾, 神保 昌世¹⁾, 久村 みのり¹⁾

- 1) 橋本市民病院

P9-3-5 演題取下げ

P9 群 地域福祉

9月14日(日)13:40～14:30

座長: 平松 瑞子(株式会社三業訪問看護ステーションバーム茨木市/相談支援事業所リアナ茨木市)

P9-4-1 高血圧重症化予防事業の実施方法と血圧低下の関連～

三木 智恵美¹⁾, 大槻 奈緒子^{2,3)}, 山本 陵平^{3,4)},

- 1) 寝屋川市健康部健康づくり推進課, 2) 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野,
- 3) 大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター保健管理部門,
- 4) 大阪大学大学院医学系研究科健康増進医学講座行動健康医学

P9-4-2 中山間地域で暮らす高齢者の主観的認知機能低下に関連する要因

小野 一恵¹⁾, 中谷 久恵²⁾, 井上 ゆりこ²⁾, 濱田 泰伸²⁾
1) 安田女子大学, 2) 広島大学大学院医系科学研究科

P9-4-3 障害のある子どもの家族と支援者間の課題に関するスコーピング・レビュー

大村 佳代子¹⁾, 紀平 知樹²⁾, 田中 晴佳³⁾, 古川 恵美⁴⁾, 林 知里⁵⁾
1) 兵庫県立大学看護学部在宅看護学, 2) 兵庫県立大学看護学部哲学,
3) 神戸市看護大学健康生活看護学領域精神看護学分野,
4) 兵庫県立大学看護学部学校保健学, 5) 兵庫県立大学地域ケア開発研究所

P9-4-4 * 地域住民と対話を通して死生を考える「ここでカフェ」の取り組み
エンドオブライフにおけるコンパッションの向上を目指して

友居 和美¹⁾
1) 大阪公立大学

P9-4-5 * みんなのベンチをみんなで作る「にしなりベンチプロジェクト」の実践報告
地域におけるソーシャルキャピタルの醸成に向けた取り組み

吉村 友美¹⁾
1) 山王訪問看護ステーション

P10 群 エンドオブライフケア

9月14日(日)14:30~15:20
座長: 坂野 朋未(東京科学大学大学院)

P10-1-1 過疎地域における生活者のエンドオブライフケアの課題に関する文献検討

小池 愛弓¹⁾²⁾, 河野 あゆみ³⁾
1) 東京医療保健大学和歌山看護学部, 2) 大阪公立大学看護学部研究科博士後期課程,
3) 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学分野

P10-1-2* 在宅における終末期がん患者へのスピリチュアルケアの実践
スピリチュアルペインアセスメントシートを活用したアプローチ

松元 沙織¹⁾, 山本 さやか²⁾
1) 東寺南クリニック國光, 2) 日本福祉大学看護学部

P10-1-3* エンドオブライフケアにおけるシーティングの活用
一褥瘡ケアを通して本人の想いを実現した事例ー

篠原 真咲¹⁾, 岡田 まり²⁾
1) 大阪公立大学大学院看護学研究科 実践看護科学領域 在宅看護学,
2) 株式会社 ジェネラス 訪問看護ステーション ほたるいせ

P10-1-4* 在宅で食道癌ステージⅢの夫を看取った認知症を患う主介護者の妻の体験

森木 友紀¹⁾
1) 千里金蘭大学看護学部看護学科・大学院看護学研究科

P10-1-5* 咽頭がん終末期の在宅療養者に苦痛緩和のための鎮静を行った一事例
鎮静の妥当性と効果について

加木 弘美¹⁾
1) 社会医療法人人生長会 ベルシャンテ訪問看護ステーション

P10 群 医療的ケア児支援 / 障害福祉

9月14日(日)14:30~15:20
座長: 眞崎 直子(西南女学院大学)

P10-2-1 人工呼吸器装着児(NPPV)の親が在宅療養を意思決定したプロセス
気管切開しない決断をしたシングルマザーの事例

塚越 八重子¹⁾

1)群馬医療福祉大学看護学部

P10-2-2 乳幼児期にある医療的ケア児の育児を支えることに対する訪問看護師の認識と実践

磯邊 聡子¹⁾

1)千葉大学大学院看護学研究科

P10-2-3 障がい児愛着支援評価尺度の開発と信頼性・妥当性の検討

田中 陽子¹⁾, 河野 あゆみ²⁾

1)畿央大学大学院健康科学研究科公衆衛生看護学,

2)大阪公立大学大学院看護学研究科看護学専攻地域包括ケア科学

P10-2-4*在宅障がい児とその家族のための居場所づくり
ウエルカムキャンパスにおける実践的アプローチ

柴田 あかり¹⁾, 田中 陽子²⁾, 前田 則子²⁾, 古澤 由菜³⁾, 松島 莉々加³⁾,
川下 智香³⁾, 池田 こころ⁴⁾, 板倉 茉結香⁵⁾, 斉藤 佑羽⁶⁾, 中川 紅葉⁷⁾

1)長浜赤十字病院, 2)畿央大学健康科学部看護医療学科看護実践研究センター,

3)奈良県総合医療センター, 4)近畿大学奈良病院, 5)大阪公立大学医学部付属病院,

6)兵庫こども病院, 7)畿央大学助産専攻科

P10-2-5 医療的ケア児を持つ両親に対して訪問看護師が大切にしている関わり

藤谷 春花¹⁾, 山本 大祐¹⁾

1)関西医科大学看護学部

P10 群 意志決定支援 / 災害支援

9月14日(日)14:30~15:20
座長: 石原 多佳子(岐阜聖徳学園大学)

P10-3-1 心不全患者のアドバンス・ケア・プランニングにおける困難要因に関する文献検討

光原 タ子¹⁾, 永井 真由美¹⁾

1)安田女子大学

P10-3-2*抗がん剤治療の継続を選択し在宅療養へ移行した利用者の終末期看護の経験
本人家族の思いに寄り添う意思決定支援と看護の役割への一考察

西谷 友美¹⁾, 坂元 美保子¹⁾, 立石 容子¹⁾

1)㈱コメディカ ハビネス訪問看護ステーション

P10-3-3*慢性閉塞性肺疾患(COPD)を患った在宅療養者における ACP の実践
病みの軌跡理論を用いた意思決定支援の分析

江口 陽貴¹⁾

1)大阪公立大学大学院看護学研究科

P10-3-4 災害発生後の遺族に対するグリーフケアに関する文献検討
複線径路・等至性アプローチによる分析

古澤 由菜¹⁾, 田中 陽子²⁾, 前田 則子²⁾

1)奈良県立病院機構奈良県総合医療センター, 2)畿央大学健康科学部看護医療学科

P10-3-5 *能登半島地震における避難所運営と多職種連携
— 行政職員として活動した保健師の視点から —

福島 奈緒美^{1,2)}, 河野 あゆみ²⁾

1) 和泉市役所生活福祉課, 2) 大阪公立大学大学院看護学研究科地域包括ケア科学分野

P10 群 認知症ケア / 難病ケア / オーラルフレイル

9月14日(日)14:30~15:20
座長: 田村 須賀子(富山大学)

P10-4-1 若年性認知症専門のデイサービスにおける支援の現状と課題
デイサービス提供者へのインタビューから

柳沼 恵¹⁾, 恒川 穂花²⁾, 丹野 陽菜³⁾, 尾崎 章子¹⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科, 2) 東北大学病院, 3) 慶應義塾大学病院

P10-4-2 訪問看護ステーションにおける認知症ケアの実践知
〜かがやき方式の認知症ケアとは〜

寺澤 明子¹⁾, 延与 洋子¹⁾, 東 望¹⁾, 辰巳 恵理¹⁾

1) 医療法人康仁会西の京訪問看護ステーションかがやき

P10-4-3 認知症高齢者への通所施設における運動介入の認知機能と身体機能への効果
: システマティックレビューとメタアナリシス

榎本 雪絵¹⁾, 河野 光信²⁾, 河田 萌生³⁾, 久篠 奈苗⁴⁾, 池田 晋平⁵⁾,
石井 博之¹⁾, 石川 和江⁶⁾, 江藤 祥恵⁷⁾, 清水 恵⁸⁾, 尾崎 章子⁸⁾

1) 杏林大学, 2) 金城大学, 3) 聖路加国際大学大学院, 4) 東京家政大学,
5) 東京工科大学, 6) 帝京大学医学部附属病院, 7) 文京学院大学, 8) 東北大学大学院

P10-4-4 *母が綴った亡き娘への手紙 進行性筋ジストロフィー症患者の在宅看取りと
グリーフケア 患者の意思決定支援と継続的ケア

坂口 博紀¹⁾, 吉村 元輝¹⁾, 西郷 嘉基¹⁾, 佐藤 歩¹⁾

1) みんなのかかりつけ訪問看護ステーション

P10-4-5 歯科診療所に長期に定期通院する在宅高齢者の口腔内の状態と日常生活に関する調査

竹本 花音¹⁾, 石橋 みゆき²⁾

1) 元千葉大学看護学部, 2) 千葉大学大学院看護学研究科

協賛等一覧

■ 共催セミナー

医療法人 AGRIE
株式会社照林社

株式会社 eWeLL

■ 抄録集・プログラム集広告

株式会社 aba
株式会社医学書院
畿央大学 看護実践研究センター
社会福祉法人正福会
中央法規出版
ビー・ブラウンエースクラブ株式会社
株式会社山手情報処理センター
株式会社ワールドプランニング

株式会社 eWeLL
株式会社 Gakken
株式会社 Canvas
スミス・アンド・ネフュー株式会社
パラマウントベッド株式会社
株式会社松永製作所
株式会社レジーナ

■ ホームページバナー広告

帝人株式会社
一般社団法人 Nurse for Nurse

株式会社データシード

■ 書籍展示

株式会社紀伊國屋書店 梅田本店

■ 企業展示

株式会社 eWeLL
株式会社大塚製薬工場
大阪医療のケア児・者支援ネットワークWa! わっしょい
せんねん灸発売元セネファ株式会社
太陽化学株式会社
東洋羽毛関西販売株式会社
株式会社メルシー
株式会社ヤマト

株式会社インボディ・ジャパン
株式会社共和
株式会社ゼスト
第一三共ヘルスケア株式会社
ディアケア株式会社
ナック商会株式会社
森下仁丹株式会社
株式会社レジーナ

■ 寄 附

株式会社 共栄

株式会社ユピア

■ 後 援

一般社団法人日本在宅ケアアライアンス
大阪公立大学
一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会
社会福祉法人大阪市社会福祉協議会
日本訪問看護認定看護師協議会

大阪府
公益社団法人大阪府看護協会
社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
公益社団法人大阪介護支援専門員協会

■ 助 成

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
独立行政法人日本学術振興会 令和 7 (2025) 年度 科学研究費補助事業 (科学研究費補助金)
研究成果 公開促進費「研究成果公開発表」

第 30 回日本在宅ケア学会学術集会の開催にあたり、皆様よりご協力をいただきました。
深く御礼申し上げます。

第 30 回日本在宅ケア学会学術集会
学術集会長 河野 あゆみ

拡大企画委員・企画委員一覧

(五十音順)

学術集会長 河野 あゆみ 大阪公立大学看護学部地域包括ケア科学

事務局長 三輪 恭子 大阪公立大学

拡大企画委員 岡田 進一 大阪公立大学
 片倉 直子 神戸市看護大学
 小西 かおる 大阪大学
 白井 みどり 大阪公立大学
 長畑 多代 大阪公立大学
 乗越 千枝 四天王寺大学
 李 錦純 関西医科大学

企画委員 池田 直隆 大阪公立大学
 大槻 奈緒子 大阪公立大学
 岡野 明美 大阪公立大学
 門野 杏子 大阪公立大学
 篠原 真咲 大阪公立大学
 田中 陽子 畿央大学
 濱吉 美穂 佛教大学
 深山 華織 武庫川女子大学
 藤田 俱子 千里金蘭大学
 丸尾 智実 神戸市看護大学
 三浦 剛 大阪府

第 30 回日本在宅ケア学会学術集会 プログラム集

令和 7 年 8 月発行

学術集会運営事務局 第 30 回日本在宅ケア学会学術集会
〒550-0001 大阪市西区土佐堀 1-4-8 日栄ビル 703A
あゆみコーポレーション内
E-mail : jahc30@a-youme.jp

無断転載・複製を禁ず

訪問看護師や介護職はもちろん、多職種が活躍する在宅現場の「いま」をお伝えします。

雑誌 訪問看護と介護

2025 年の特集

- ▶ 研究と現場の実践から見た！ 看護小規模多機能型居宅介護の現在地とこれから向かう先
- ▶ これだけは押さえておきたい 訪問看護に来ていきなり必要になる看護技術 第2弾
- ▶ 精神科訪問看護での関わり方をガラリと変える Q&A 集 現場の“困ったケース”で徹底検討！
- ▶ 関係性を築いた驚きの方法 あの会話・行動・判断がきっかけになっていた！？

隔月刊(奇数月)、年6冊
通常号定価：1,760 円
(本体 1,600 円＋税 10%)



94 歳、看護師。当事者として考える、これからの高齢者ケア

私的高齢者ケア論

リアルな老いから考える、
新しいケアのかたち

著 川嶋 みどり

■B6 2025 年 頁184
定価：2,200 円(本体 2,000 円＋税 10%)
[ISBN978-4-260-05617-5]



在宅で行う生活リハビリテーション、栄養管理のポイントをまとめた実践書

フレイル・サルコペニア予防！ 在宅でできる生活リハビリテーション・ 栄養管理のポイント

編集 内橋 恵 / 吉村 芳弘

■A5 2025 年 頁120
定価：2,200 円(本体 2,000 円＋税 10%)
[ISBN978-4-260-05362-4]



そんな考え方があったんだ！地域の困難事例に「あんな手・こんな手」を提案。

精神疾患をもつ人への支援で、 壁にぶち当たったら読む本

巻きかえしの技教えます

著 小瀬古 伸幸 執筆協力者代表 進 あすか

■B5 2025 年 頁184
定価：2,310 円(本体 2,100 円＋税 10%)
[ISBN978-4-260-06218-3]



あの人は、どうしてできるのか。〈訪問看護師の頭の中〉をこぼにしてみる。

こぼにしてみた 訪問看護の看取り

著 鈴木 沙織

■A5 2025 年 頁136
定価：1,980 円(本体 1,800 円＋税 10%)
[ISBN978-4-260-05772-1]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト] <https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL: 03-3817-5650 FAX: 03-3815-7804 E-mail: sd@igaku-shoin.co.jp

+ ハイドロサイト® シリーズ 患者様・医療従事者の 創傷ケアのために

Smith+Nephew

あらゆる創傷ケアのお悩みに、
多様な機能を備えたラインナップで、
みなさまをサポートします。

ハイドロサイト ライフ

ハイドロサイトシリーズの中で
吸収力の高い高機能ドレッシング

 滲出量	 EXUMASK チューンインゲッター	 詳細は コチラ
 2 粘着力	 EXULOCK ロックインテクノロジー	
 ソフトな シリコン粘着	 5層による 圧力の分散	

トップフィルム

高水蒸気透過性フィルム (IV3000) を使用。
過剰な滲出液を素早く蒸散させます。

不織布超吸収パッド

滲出液を「適度」に保持します。

シリコン粘着剤

皮膚にやわらかく密着し、
交換時の剥離刺激による疼痛や
スクintaブルを軽減します。

マスキング層

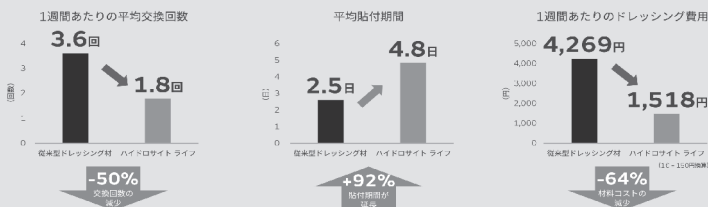
製品の上から滲出液が目立ちにくく、
患者様の不安を適度に軽減します。

ハイドロセラーフォーム

滲出液を適度に保持し、
モイストウンドヒーリングをサポートします。

承認番号: 22600BZX00209000

ハイドロサイト ライフはみなさまの創傷ケアに貢献します (n=37)*



*Joy, H et al. A collaborative project to enhance efficiency through dressing change practice. Journal of Wound Care 2015;24(7):332-314-7.



処方制度をわかりやすく解説したマンガ冊子や、
保険・製品関連の資料はスミス・アンド・ニュー
ホームページからダウンロードできます。

スミス 在宅保険



製造販売元

スミス・アンド・ニュー株式会社 ウンドマネジメント事業部
〒105-5114 東京都港区浜松町二丁目4番1号
TEL.03-5403-8830
<http://www.smith-nephew.com/ja-jp>
©Trademark of Smith+Nephew
© 2024 Smith+Nephew

大切な人があなたのことを忘れてしまったら？
子どもたちの作文に答えのヒントがある！

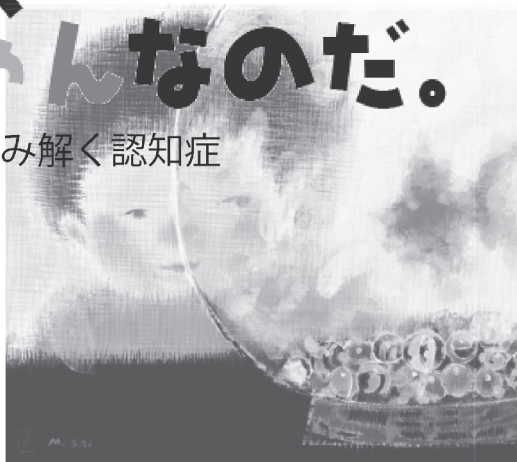
新刊

それが、 ばあちゃんなのだ。

子どもの目から読み解く認知症

編者
藤川幸之助

B5変形／76頁
定価：本体1,200円＋税



「寄り添う」本当の意味とは

「認知症だから仕方ない」だけでは終わらない。

おばあちゃんを笑顔に！

苦手な黒飴も、おばあちゃんとの交換日記。

子どもたちの作文と、それを見守る詩人の優しい眼差し。

忘れかけていた大切な記憶、揺るがない家族の絆。

読後、きっとあなたの心にも温かな何かが灯ります。



株式会社 ワールドプランニング

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 4-1-1

E-mail wp-office@worldpl.co.jp

TEL :03-5206-7431

FAX :03-5206-7757

<https://www.worldpl.co.jp>

先輩との対話が解決に導く！ 支援困難事例への訪問看護スキルアップガイド (仮称)

学術集会長・河野あゆみ先生最新刊！

●河野あゆみ＝編著 ●B5判・約210頁 ●2025年9月発行予定

利用者が複数の健康課題等をもっていることが多く、支援困難に陥りやすい訪問看護現場。本書では、訪問看護師が出会いがちな支援困難事例にかかわる際に必要となるスキルやケアの展開方法などについて、先輩看護師等との対話形式でやさしく解説。アセスメントや対応のポイントもすぐわかり、実践に役立つ一冊。

第1部 総論 支援困難事例への訪問看護スキルを磨く

第2部 各論 対話からわかる支援困難事例への訪問看護の展開とスキル

※目次構成案は予定です

I 意思決定支援

- ・一人暮らしの認知症高齢者 × BPSDの進行
～施設入所の家族のジレンマへの寄り添い
- ・身寄りのない高齢者 × ケアハウス入居
～パチンコで散財する生活保護受給者への支援

II 健康課題支援

- ・知的障害のある糖尿病療養者 × 血糖コントロール
～天涯孤独な状況での自己管理方法の工夫
- ・超高齢者 × 食欲の低下と衰弱
～老衰の穏やかな看取り

III 家族支援

- ・医療的ケア児と母親 × 療育の抱え込み
～レスパイトケアの提供
- ・終末期がん児ときょうだい児 × 退行現象
～きょうだい児の承認要求と疎外感の理解と軽減

IV 環境支援

- ・重症心身障害児 × 就学準備
～行政、学校との連携体制づくり
- ・双極性障害の療養者 × ごみ屋敷
～セルフ・ネグレクトの段階的な解決

20の
支援困難事例への
対応がわかる！

はじめての 精神科訪問看護 (仮称)

●吉川隆博・原子英樹・岩崎寛人＝編著
●A5判・約240頁 2025年9月発行予定

精神科訪問看護に「はじめて」携わる看護師等に向けて、訪問看護・精神科医療看護の基礎知識やサービスを提供する上で欠かせない視点などを簡潔に解説する。

ケアする人の対話実践 明日からの支援が変わる「聞き方」と「話し方」(仮称)

●小瀬古伸幸＝著
●A5判・約140頁 2025年9月発行予定

対人援助職が支援の現場で対話を行う場合、そこに安全性がなければ、利用者の不利益になる可能性がある。本書では、「主観と主観の交流」するプロセスを「対話」と位置づけ、ケアにおける対話実践について具体的に解説する。



ISBN978-4-8243-0022-5

医師・看護師のための 認知症プライマリケア まるごとガイド

●平原佐斗司、内田直樹、遠矢純一郎＝編著
●定価4,620円(税込) B5判・480頁 2024年4月発行

疾患別の解説のほか、認知症高齢者の各ステージで医療専門職が行うべき対応を整理した。認知症のプライマリケアに必要な知識を網羅的に解説する一冊。



ISBN978-4-8243-0115-4

訪問看護報酬 請求マニュアル 第3版 記載例でレセプト作成・請求のポイントがわかる

●公益財団法人日本訪問看護財団＝編集
●定価3,740円(税込) B5判・486頁 2024年9月発行

訪問看護の報酬請求を正しく行うためのポイントなどをわかりやすく解説した好評書の改訂版。令和6年の診療報酬・介護報酬の同時改定に対応。



ISBN978-4-8058-8936-7

Q&Aでわかる 訪問看護ステーションの 起業・経営・管理

確かなスタートと着実なマネジメントで成果を出そう

●公益財団法人日本訪問看護財団＝編集
平原優美、藤野泰平、柳澤優子、加藤 希＝著
●定価3,300円(税込) A5判・316頁 2023年9月発行

訪問看護事業所の着実な起業・経営のための視点をわかりやすく伝授。さまざまな悩みについて Q&A 形式で具体的に解説した。



ISBN978-4-8058-8988-6

在宅医療 治し支える医療の概念と実践

●横倉義武、大島伸一、辻 哲夫、新田國夫＝監修
蘆野吉和、太田秀樹＝編集
●定価4,180円(税込) B5判・292頁 2024年4月発行

高齢化による疾病構造の変化に伴い、医療の概念が「治し支える医療」へと変化している中、在宅医療の概念やあり方を体系的かつ詳細に解説する。



訪問看護の現場におけるあらゆる疑問に答える好評書。オンライン資格確認・請求の義務化などを盛り込み、診療報酬・介護報酬の最新情報もまとめた最新版。

報酬・制度・実践のはてなを解決 訪問看護お悩み相談室

令和7年版

●公益財団法人日本訪問看護財団＝編集
●定価3,300円(税込) A5判・約450頁
2025年8月発行予定 ISBN978-4-8243-0276-2



訪問看護実務相談 Q&A

令和7年版

●一般社団法人全国訪問看護事業協会＝編集
●定価4,180円(税込) B5判・約700頁
2025年8月発行予定 ISBN978-4-8243-0277-9

訪問看護の介護報酬と診療報酬について、算定要件や手続き等、実務の参考にできる500以上のQ&Aを収録。第一部を再構成し、より使いやすくなった最新版。

私たちは、人間の鼻のように“におい”で排泄を検知できる製品、ヘルパッドを開発しています。開発したきっかけは「おむつを開けずに中が見たい」という介護職員のひと言でした。

大学時代、実習で介護施設を訪れた時のことです。私はとんでもない光景に直面します。便座に座っている高齢の入居者さんを介護職員さんが二人がかりで押さえつけていました。入居者さんはうめき声をあげ、嫌がっても職員さんたちは力を緩める様子もなく、必死の形相でお腹を押しています。もうすぐ帰宅時間なので、施設にいるうちに排便させるために、腹圧をかけていると言います。

あまりにショッキングな光景でした。私は思わず、「これはご本人が望んでいることですか？」と尋ねました。質問しながら泣いてしまっていたと思います。職員の方は私をとがめることも、慰めることもなく、ただ静かにこう答えました。

「わからない」

重たい葛藤を背負いながらケアの現場に立ち続ける介護職員の方々。できることがあるなら、少しでも力になりたい。そんな思いで「どんな製品があったらいいと思いますか？」と尋ねたとき、返ってきたのは「おむつを開けずに中が見たい」でした。

ドラえものの道具でも願うように、苦笑まじりで教えてもらった、介護職員の思い。でも、私は確かにあの日、願いとして受け取ったのです。

あれから十数年。ようやく自信を持って「おむつを開けずに、中が分かるようになりました」と伝えられるところまで来ました。

ベッドに敷くだけで排泄を検知できる。排泄データが蓄積されていくことで、明日のケアに生かすこともできる。私たちのヘルパッドは介護者の願いを叶えた製品だと自負しています。でも、これはまだほんの序章に過ぎません。これから私とabaのメンバーは、介護の願いに挑み続けます。同じ志を持つ技術者とも手を取り合い、競い合い、介護の願いを叶えていきます。

おむつを開けずに 中が見たい



株式会社aba

療法士が拓く 新時代の健康ビジネス —保険外事業への挑戦—

診療報酬の枠を超え、療法士が専門性を活かせる新たな場が広がっています。企業の健康経営ニーズや予防医療への関心が高まり、健康観も変化しました。私たちは、療法士の専門性とITシステムを掛け合わせ、地域特性に応じた健康経営支援事業を展開しています。



一成功のカタチを 仕組みに変えサポートー

地域特性に応じた健康経営事業を弊社と共に構築しているフランチャイズ（FC）先は、『全国37エリア』に拡大中。

弊社が直接、健康経営サービスを提供する中小企業（島根県中心）も『70社以上』と続伸中。弊社のノウハウを仕組み化し、フランチャイズ先に伴走しながらサポートします。

＼ はじめてでも安心！ ／
事業立ち上げから運営まで 伴走型で支援！

事業の構築・拡大

FC契約後に詳しい進め方
& 計画づくりを支援
また、新法人立ち上げまでの
広報支援も対応可能

広報資料作成支援

プレゼン資料やチラシの作成
をお手伝い

補助金調査

自社・顧客向けの補助金を
リサーチ＆ご提案

コミュニティ構築提案

連携すべき団体・
ネットワークをご紹介

モデル企業探し

健康経営を導入しやすい
企業と一緒に選定

2025年4月に健康経営支援ITシステム
「Ciaeru」を公開！

フランチャイズパートナーの皆様は
無料でシステムを利用いただけます。
療法士が保険内の事業だけでなく
保険外の事業として中小企業への
サービスを展開する際に強力な
支援ツールとなります。



詳細はこちら



健康経営支援事業 フランチャイズ個別説明会を開催中。
今だけ、ITシステムお試し無料！

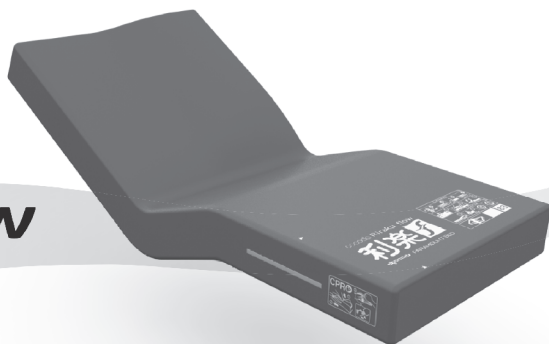
関心を持っていたいた方はぜひお早めにご連絡ください。

お問い合わせ：株式会社Canvas 福島（ふくしま）

Email：canvas.contact0319@gmail.com

cococia
利楽 flow

こころかららくフロー



さらに進化した床ずれ対策機能が、
電源コードを差し込むだけで、
全自動で使えるエアマットレス

スモールフロー 自動体位変換機能で体圧分布を変化、拘縮防止をサポート

バックサポート 背上げ時の座位姿勢を保持、体圧分散性を向上

高い体圧分散性 厚さ17cmで高い体圧分散性を発揮、体重180kgまで対応

i-fitting 全自動で患者さんに適したかたさを実現

パラマウントベッド株式会社
www.paramount.co.jp

東京支店 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
横浜支店 〒194-0004 東京都町田市鶴間5丁目3番33号

☎(03) 3648-1171 (代)
☎(042) 795-8800 (代)

座るとスッと伸びる気持ちよさ
自然体ですごせる心地よさ

ナチュラル

バランス

Natural Balance

Next core 2 Adjust

Debut August 2025

Natural Balanceの3要素

1. 骨盤を起こしやすい座面の角度2°
2. 骨盤を座面の奥まで入れやすい奥行設定
3. 背もたれに体を預けやすい背もたれ形状

だからネクストコア2は自然にいい姿勢が取りやすい。それが~Natural Balance~

社会福祉法人 正福会

理事長 福田 光正

特別養護老人ホーム

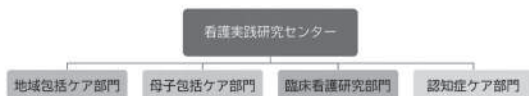


くつろぎ・つるみ荘 〒538-0033 大阪市鶴見区中茶屋1丁目1番10号
(法人本部事務局) TEL 06(6914)3877 FAX 06(6914)3878



くつろぎ・友井荘 〒577-0816 東大阪市友井4丁目8番5号
TEL 06(6722)2550 FAX 06(6722)2850

畿央大学看護実践研究センター



地域包括ケア部門では、学生や専門職を対象とした安心感の輪・子育てプロジェクト
障がい児の愛着形成支援～障がい児かわり方セミナー～開催中！



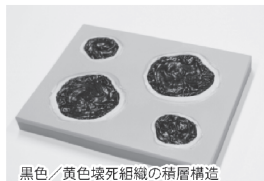
KIOUniversity

〒635-0832 奈良県北葛城郡広陵町馬見中4丁目2-2
0745-54-1601 (代)

化粧品業界でも採用！ 圧倒的にヒト肌に近い質感 “バイオスキン”

BioSKiN
株式会社 レジーナ

BBS-18 褥瘡切除モデル
7,200 円（税別）

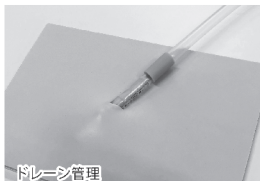


黒色／黄色壊死組織の積層構造

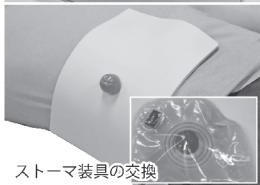


リアルティのあるデブリ除去

BDP-182 ドレーン処置モデル
（3枚組）78,000 円（税別）

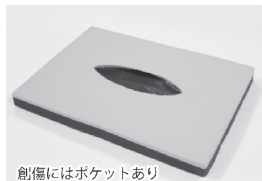


ドレーン管理



ストーマ装具の交換

BDR-A4 創傷管理モデル
27,600 円（税別）



創傷にはポケットあり



陰圧閉鎖療法法のトレーニング

上記以外にも、静脈注射モデル、瘻孔モデルなど、
多数のシミュレータを取り揃えております。
詳しくは、公式サイトをご覧ください。

URL: <https://www.bioskin.jp>

レジーナ バイオスキン 検索



株式会社 **レジーナ**

バイオスキン製品は、国内の自社工場にて、開発、生産を行っております。

埼玉県さいたま市浦和区高砂3-10-2

TEL.048(836)2600

✉ info-b@bioskin.jp

創傷衛生/ ウンドハイジーン の実践

毎日の創傷ケアでシンプル
な4STEPを繰り返すこと
で、創傷の衛生状態を
整える実践方法をご紹介
しています。
ケアに役立つ快適WEB
空間 B LOUNGEへ
ぜひお越し下さい。

販売名：プロントザン

抗菌性創傷被覆・保護材

高度管理医療機器

承認番号：23000BZ100005000

製品のご使用にあたっては電子化された

添付文書を必ずお読みください

カスタマーサービスセンター：0120-401741

製造販売元：ビー・ブラウンエススクラップ株式会社

ケアに役立つ短編動画 配信中 きず会議第3話

創傷ケアとACP



きず
会議
前編

ACPは日常のコミュニケーション。

アドバンス ケア プランニング

動画名：きず会議第3話 前・中・後編

平山司樹先生 訪問看護ステーションかつさい

志村知子先生 訪問看護ステーションPono

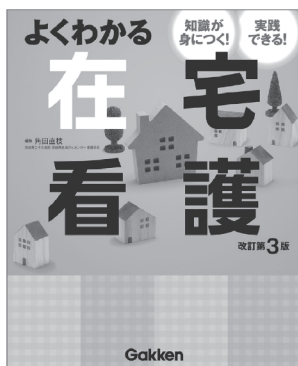
安藤嘉子先生 大阪赤十字病院

「プロントザン」で検索



B | BRAUN
SHARING EXPERTISE

これから在宅看護を志す看護師・看護学生へ



在宅看護の**知識**と**技術**を
第一線で活躍する看護師が
写真とイラストで丁寧に解説!
現場でお役立ちの情報満載です。

よくわかる在宅看護 改訂第3版

編集：角田直枝

●AB判 ●定価：3,080円(10%税込) ●ISBN978-4-7809-1396-5

全国の書店・
ネット書店で
好評発売中!



目次等詳細は
学研出版サイトを
ご覧ください

株式会社Gakken メディカル事業部

〒141-8416 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL: 03-6431-1234 FAX: 03-6431-1790

調査・入力・集計・報告書作成まで 研究をトータルサポートします

《営業内容》

- 各種調査
郵送調査/訪問調査/来場者調査
通行量調査
フォーカスグループインタビュー
パーソナルインタビュー
覆面調査/食品試験
調査員ネットワークにより全国調査可能
- データプロセッシング
入力/検入力
データの結合・加工
データエラーチェック/クリーニング
統計解析ソフトによる各種集計
自由記述回答の入力・分類
- 対象者抽出
住民基本台帳/選挙人名簿
ネットモニター/調査員
- グラフ作成
- データベース構築
- 電子調査票作成
- 調査分析
- 健診結果個票出力
- 印刷・封入・発送
- 学術集会・委員会の運営・支援
- 健診会場での原票確認・回収

 株式会社 山手情報処理センター



〒114-0015 東京都北区中里2-18-5 JMRA 日本マーケティング・リサーチ協会正会員
メール: info-yamate@yamate-info.co.jp 電話: 03-3949-4521 URL: <https://www.yamate-info.co.jp/>



第31回 日本在宅ケア学会学術集会 在宅ケアの核心と革新

～ 本質を問い、誠実な歩みを進める～

会 期 2026年 **11月7日(土)・8日(日)**

メイン会場 レクザムホール(香川県県民ホール)

〒760-0030 香川県高松市玉藻町 9-10

学術集会長 片山 陽子 香川県立保健医療大学



事務局 香川県立保健医療大学 在宅看護学 〒761-0123 香川県高松市牟礼町原 281-1

事務局長 岡田 麻里 香川県立保健医療大学 在宅看護学

運営事務局 株式会社 ユピア

〒456-0005 愛知県名古屋市中熱田区池内町 3-21

地域包括ケアの 新しいアプローチ

けあログっと
carelogood

地域包括ケアを支える 連携プラットフォーム

「けあログっと」なら地域の訪問看護ステーションを素早く検索でき、在宅医療の体制づくりをサポート！短期間での退院準備を効率的に進められ、地域包括ケアの連携のあり方が変わります。



訪問看護とつながることで、
在宅ケアに安心と継続を

患者様が退院して在宅へ移行する際、医療が途切れずに続けられることが大切です。医師やケアマネジャー、介護職、薬局など、それぞれの専門職が連携し、患者様に適切なケアを届けていく中で、訪問看護は在宅での医療を支える重要な存在です。日々の体調を見守り、必要なケアを確実ににつなげる。ニーズに適した訪問看護ステーションとの連携により、在宅でも安心して療養が続けられます。

訪問看護の運営を 丸ごとサポート

iBowは電子カルテを中心に記録書作成・レセプト請求・チャット機能・勤怠管理・スケジュール作成の他、スマホ・タブレット端末レンタルサービスや新規開設のサポートなど訪問看護の運営を丸ごとサポートできます。

けあログっと
carelogood

けあログっと



<https://carelogood.jp/>

ご利用はこちらから→

